

# 射水市教育委員会 9 月定例会次第

日 時 平成 27 年 9 月 28 日(月)

午前 9 時 30 分

場 所 下庁舎 201 会議室

## 1 会議録の承認

## 2 教育長の報告

(1) 平成 27 年 9 月議会開催状況について 資料 1

## 3 各課等の連絡事項及び報告事項

(1) 平成 27 年度 全国学力・学習状況調査における射水市の結果について

【当日配布】資料 2

(2) 平成 27 年度夏休み補充学習の結果について (学校教育課) 資料 3

(3) 平成 27 年度イングリッシュキャンプの結果について(学校教育課) 資料 4

(4) 指定管理者の募集について (生涯学習・スポーツ課) 資料 5

(5) 富山マラソン開催準備状況について (生涯学習・スポーツ課) 資料 6

(6) 教育委員会行事予定 資料 7

## 4 その他

※ 次回教育委員会の開催日時について

月 日 ( ) 時 分 学校訪問

## 平成27年9月議会開催状況について

1 教育委員会関係議案

議案第63号 平成27年度射水市一般会計補正予算（第2号）

2 代表質問、一般質問（教育委員会関係）

(1) 代表質問 9月8日（火）

○ 吉野省三 議員（自民議員会）

- ① 不登校児童の現況とその対策及びフリースクール法案について
- ② 孫とお出かけ支援事業について

(2) 一般質問 9月9日（水）

○ 瀧田孝吉 議員

夏休み補充学習等の成果について

3 予算特別委員会 9月10日（木）、9月15日（火）

9月10日（木）

○ 赤江寿美雄 委員

(1) 教育委員会制度について

- ①教育行政について
- ②いじめ・体罰について
- ③教員の勤務時間について

(2) 下村図書館について

○（関連）四柳 允 委員、小島啓子 委員、津本二三男 委員

下村図書館について

9月15日（火）

○ 中村文隆 委員

全国学力・学習状況調査について

○ 竹内美津子 委員

(1) Q-U調査の検証について

①Q-U調査の解析の仕方について

②調査結果の検証と今後の取組について

(2) 学校給食における牛乳パックのリサイクルについて

○ 小島啓子 委員

健康寿命の延伸について (小杉体育館を健康寿命延伸の活動拠点として)

4 総務文教常任委員会 9月11日(金)

報告事項1 教育に関する事務の点検・評価報告書(平成26年度分)について

報告事項2 大島図書館の廃止について

報告事項3 平成27年度全国学力・学習状況調査について

「平成27年度 全国学力・学習状況調査」

における射水市の結果について

平成27年 9月28日(月)

射水市教育委員会

## I 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 市教育委員会が、全国的な学力や学習状況との関係において、本市小中学校の結果を把握し、改善を図るための教育施策に活用する。
- 小中学校においては、各校の児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に活用する。

## II 実施概況（射水市小中学校）

- 実施期日 平成27年4月21日（火）
- 調査内容
  - ・ 学力調査（教科に関する調査）
    - （小学校）国語、算数、理科（3年ぶりに実施）
    - （中学校）国語、数学、理科（3年ぶりに実施）
  - ・ 学習状況調査（質問紙調査）
    - 児童生徒、学校

### ○ 実施学校数、実施児童生徒数

射水市 小中学校	小学校6年		中学校3年	
	実施学校数	実施児童数	実施学校数	実施生徒数
	15校	865名	6校	909名

### ※ 用語説明

平均正答率	平均正答数を百分率で表示 <ul style="list-style-type: none"><li>○ 国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）<ul style="list-style-type: none"><li>※ A：主として「知識」に関する問題</li><li>B：主として「活用」に関する問題</li></ul></li><li>○ 学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率</li></ul>
-------	---

### Ⅲ 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

射水市教育委員会においては、学力向上のための取組を積極的に推進し、各小中学校で授業改善に取り組んだこともあり、平均正答率等の調査結果に成果がみられた。

平成26年度から「射水市学力向上委員会」を立ち上げ、その結果を詳細に分析・考察し、授業方法の改善や学習習慣の定着、学力向上対策に反映してきた。今後も各小中学校の継続的な取組を支援していくこととする。

#### 1 学力調査の結果について（教科区分別平均正答率）

○本市は、小学校・中学校とも、全ての教科区分において、全国平均を上回った。小学校は、全ての教科区分において県平均を上回り、大きな改善がみられた。

○3年ぶりに実施された理科では、小学校・中学校とも全国平均を4ポイント以上、上回った。

○小学校は、国語、算数とも活用力（B問題）の定着に改善の成果がみられた。

○中学校は、ほぼ昨年同様の結果であった。国語の活用力が改善されたが、数学の活用力の定着に課題が残った。

（単位：％）

区 分	小 学 校 6 年					中 学 校 3 年				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理 科	国語A	国語B	数学A	数学B	理 科
射水市	73.6	72.4	79.2	48.6	68.0	77.6	67.6	65.5	42.0	57.4
県との差	0.7	2.3	0.7	1.1	0.5	- 0.5	- 0.6	- 1.6	- 2.5	- 1.8
国との差	3.6	7.0	4.0	3.6	7.2	1.8	1.8	1.1	0.4	4.4
富山県	72.9	70.1	78.5	47.5	67.5	78.1	68.2	67.1	44.5	59.2
全 国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

※ A：主として「知識」に関する問題      B：主として「活用」に関する問題

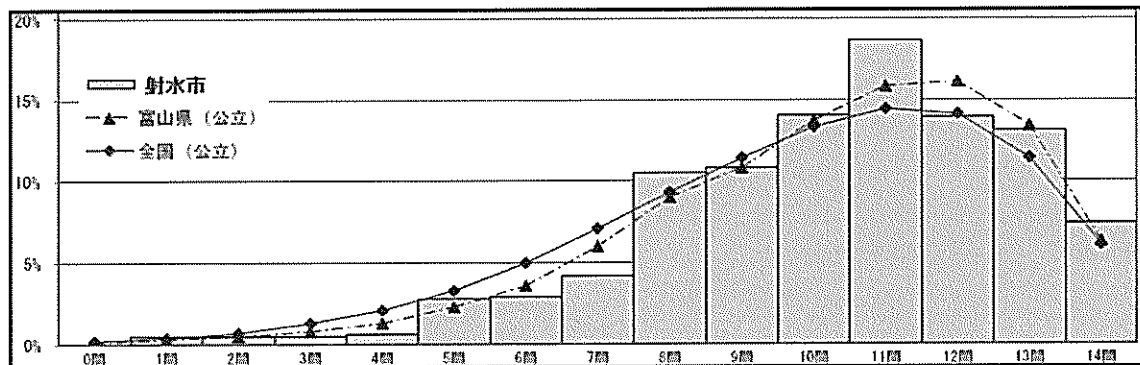
【参考】（平成26年度：学力調査） ※「理科」は実施されていない （単位：％）

区 分	小 学 校 6 年				中 学 校 3 年			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
射水市	71.7	56.6	77.3	57.1	81.9	53.2	69.6	62.6
県との差	- 2.4	- 2.9	- 3.7	- 4.9	- 0.4	- 1.9	- 1.5	- 1.0
国との差	- 1.4	1.0	- 0.9	- 1.3	2.1	1.6	1.7	2.1
富山県	74.1	59.5	81.0	62.0	82.3	55.1	71.1	63.6
全 国	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8

## 2 教科に関する結果の概況及び考察

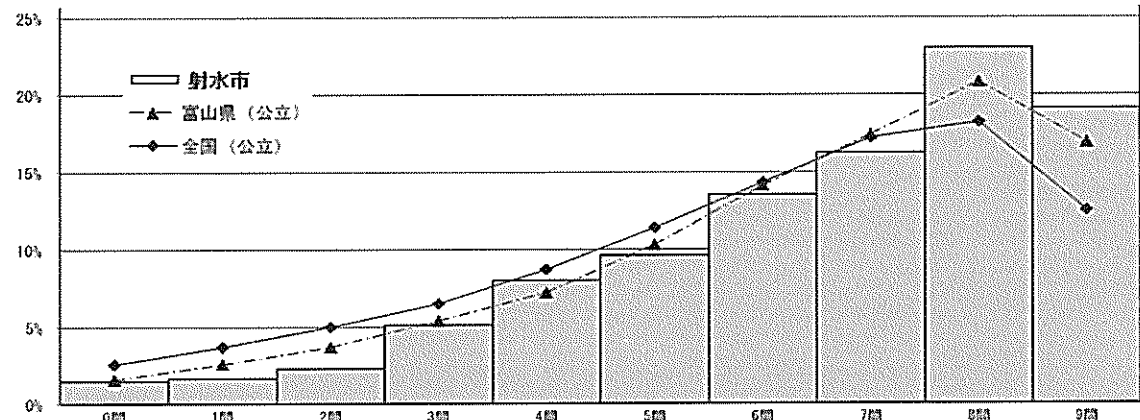
### 小学校国語A 【平均正答率：◎ 県以上 ○ 全国以上 △ 全国未満】

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体			◎ 73.6	72.9	70.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	○ 55.5	56.0	53.0
	書くこと	1	○ 86.1	86.5	86.0
	読むこと	4	◎ 59.0	56.6	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	◎ 81.2	80.8	77.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	○ 55.5	56.0	53.0
	書く能力	1	○ 86.1	86.5	86.0
	読む能力	4	◎ 59.0	56.6	55.2
	言語についての知識・理解・技能	9	◎ 81.2	80.8	77.2
問題形式	選択式	7	◎ 71.1	70.3	66.4
	短答式	7	◎ 76.1	75.5	73.7
	記述式	0			



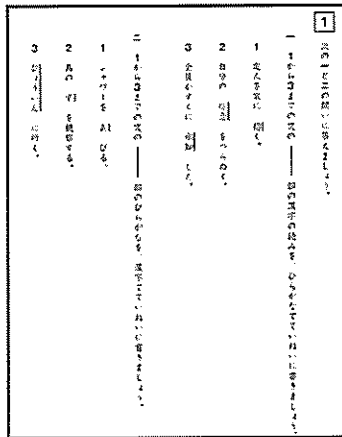
### 小学校国語B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体			◎ 72.4	70.1	65.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	6	◎ 68.6	66.4	61.1
	読むこと	6	◎ 75.5	73.2	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	◎ 64.7	62.1	55.4
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	6	◎ 68.6	66.4	61.1
	読む能力	6	◎ 75.5	73.2	68.1
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	3	◎ 73.6	72.0	68.6
	短答式	2	◎ 86.0	83.3	80.8
	記述式	4	◎ 64.7	62.1	55.4

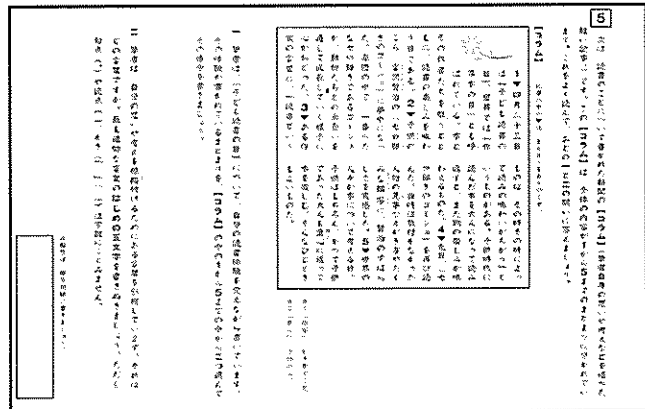


小学校国語

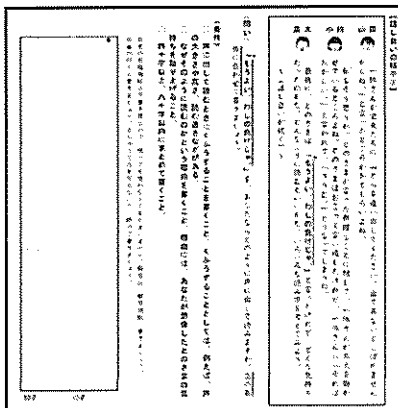
<p>結果の概要</p>	<p>○国語Aでは、総点において全国の正答率を3.6ポイント、県の正答率を0.7ポイント上回っている。国語Bでは、総点において全国の正答率を7.0ポイント、県の正答率を2.3ポイント上回っている。                  ●無解答率は、国語A、Bの全23の設問のうち、13の設問で県を上回っている。無解答率が下がるよう、粘り強く問題に取り組む指導を続けなければならない。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○「言語についての知識・理解・技能」の領域で、漢字の書き取り（設問1）の正答率は81.2%（「病院」を除く全ての設問）で全国・県の正答率よりも高かった。文中における主述の関係及び文の意味内容を押えた指導、漢字の読み・書きの継続した指導が効果をあげていると考えられる。                  ●「読むこと」の領域において、新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題（設問5二）の正答率が20.6%と低かった。コラムの表現の事実、引用等、記事の書き方の工夫に注意して読むことが必要である。また「話すこと・聞くこと」の領域について、美化委員会からの提案を自分の意見と比べながら聞いている人物の感想を類型化する問題（設問3）が55.5%で、県平均を0.5ポイント下回った。「聞き方を工夫すること」について課題が見られ、話の中心や話し手の意図を捉えて聞く指導の工夫が必要である。</p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○どの設問も正答率が全国平均・県平均を上回り、特に、声に出して読むときの工夫とその理由を書く問題（設問3二）では、正答率が77.9%と県平均を3.7ポイント上回っている。                  ●「書くこと」の領域において、取材したことを決められた字数の中で、条件に合わせて記事を書く問題（設問1三）の正答率が45.9%と低く、楽器の分担方法を条件に合わせて決められた字数で書く問題（設問2三）の正答率も50.6%と低かった。必要な事柄を整理し文と文のつながりを考えながら書いたり、考えたことを自分の言葉でまとめたりの学習が必要である。</p>



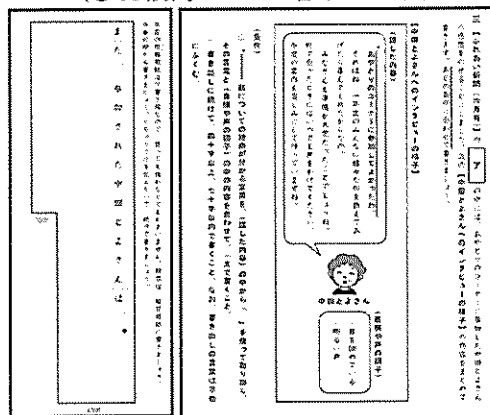
(○A設問1 正答率81.2%、1一正答率67.4%)



(●A設問5二 正答率20.6%)



(○B設問3二 正答率77.9%)

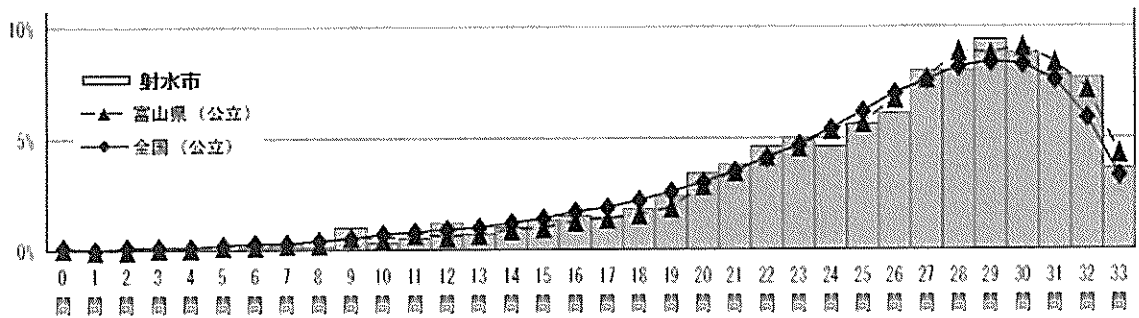


(●B設問1三 正答率45.9%)



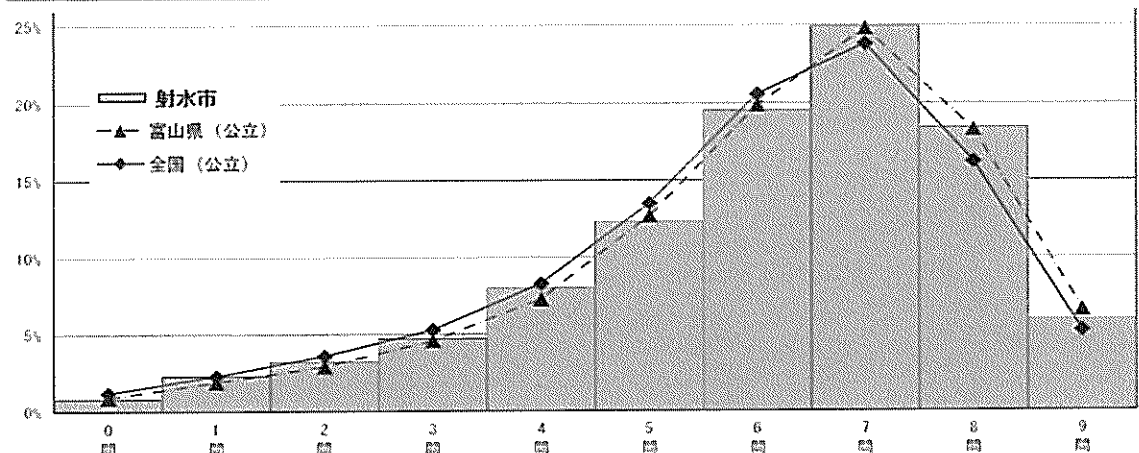
### 中学校国語A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	33	○ 77.6	78.1	75.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	○ 80.9	82.2	78.7
	書くこと	5	○ 77.5	78.2	73.8
	読むこと	5	○ 87.2	88.2	88.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	○ 74.5	74.5	72.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	○ 80.9	82.2	78.7
	書く能力	5	○ 77.5	78.2	73.8
	読む能力	5	○ 87.2	88.2	88.1
	言語についての知識・理解・技能	19	○ 74.5	74.5	72.9
問題形式	選択式	23	○ 77.0	77.4	75.5
	短答式	10	○ 79.2	79.6	78.7
	記述式	0			



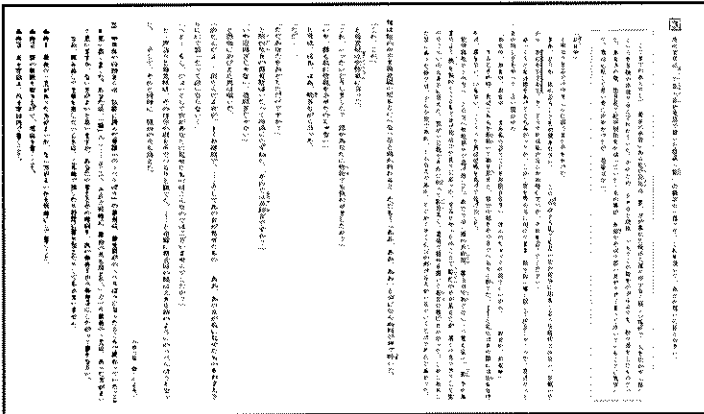
### 中学校国語B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	9	○ 67.6	68.2	65.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	○ 73.1	74.3	72.2
	書くこと	3	○ 39.0	39.3	38.7
	読むこと	6	○ 64.8	65.1	62.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	○ 39.0	39.3	38.7
	話す・聞く能力	3	○ 73.1	74.3	72.2
	書く能力	3	○ 39.0	39.3	38.7
	読む能力	6	○ 64.8	65.1	62.6
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	6	○ 81.9	82.7	80.3
	短答式	0			
	記述式	3	○ 39.0	39.3	38.7

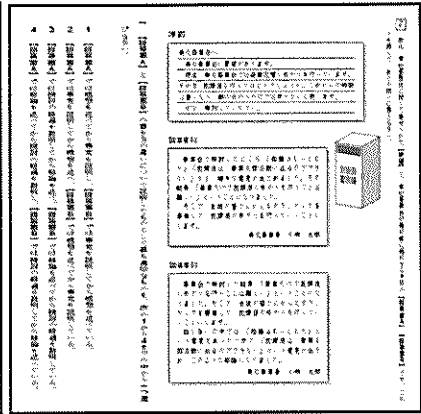


中学校国語

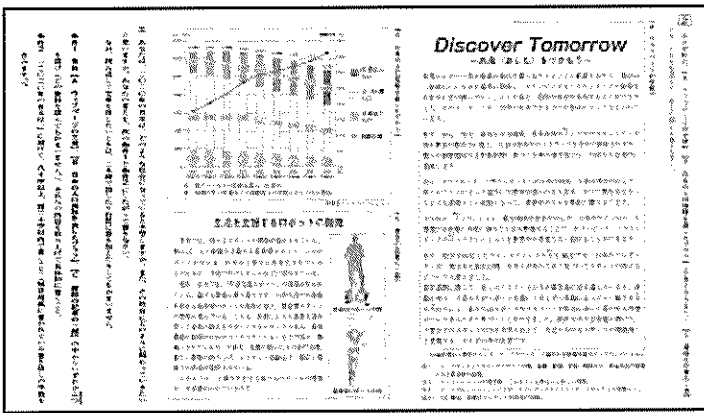
<p>結果の概要</p>	<p>○国語A、Bともに、全ての領域、観点、問題形式における正答率は、全国平均を0.9～3.9ポイント上回っている。                  ●全ての領域、観点、問題形式における正答率は国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を除き、県平均より0.4～1.3ポイント下回っている。国語Bでは、全て県平均より0.2～1.2ポイント下回っている。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○「書くこと」の領域では正答率が77.5%と全国より3.9ポイント高く、「伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える」問題（設問7一）では県平均を上回っている。また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率が74.5%と全国より1.6ポイント高い。特に、漢字の読み書きの正答率が高く、継続した指導が効果をあげたものと考えられる。                  ●「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の「単語の類別について理解する」問題（設問9四②）の正答率は24.2%にとどまり、全国より9.5ポイント下回っている。単語の品詞等の分別についての学習内容を確認する必要がある。また、「読むこと」の領域では、「目的に応じて要旨を捉える」等、5問中4問で県平均を0.7%～2.4%下回っており、文章の情報を基にして書き手の考えや根拠を捉えることができるよう指導を工夫することが必要である。</p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○「書くこと」の領域の記述式の設問では3問中2問で、全国平均・県平均共に上回った。特に、「文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして書く」問題（設問3三）では、県平均を1.6ポイント上回った。また、「読むこと」の領域の平均正答率も、全国と比べて2.2ポイント高く、特に、「文章の中心的部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える」問題（設問2二）では、県平均より1.8ポイント高い。                  ●「読むこと」の領域の各設問の正答率は県平均を下回るものが多い。特に、「書くこと・読むこと」の複合問題の「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く」問題（設問2三）では、正答率が25.5%と、県平均よりも2.8ポイント低い。資料の内容を的確に読み取った上で自分の考えをまとめて発表したり書いたりする学習活動を取り入れることが必要である。</p>



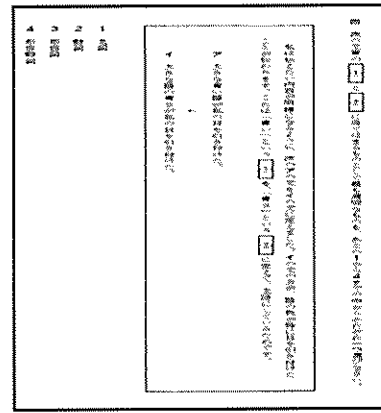
(○B設問3三 正答率 32.9%)



(○A設問7一 正答率 74.2%)



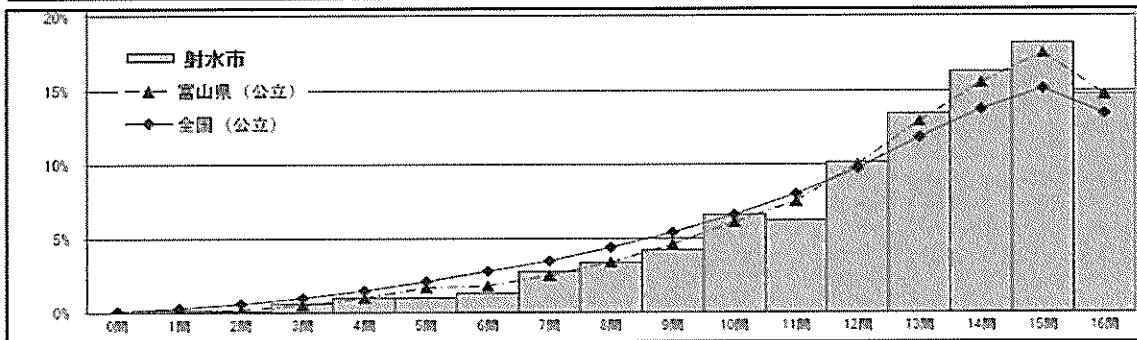
(●B設問2三 正答率 25.5%)



(●A設問9四② 正答率 24.2%)

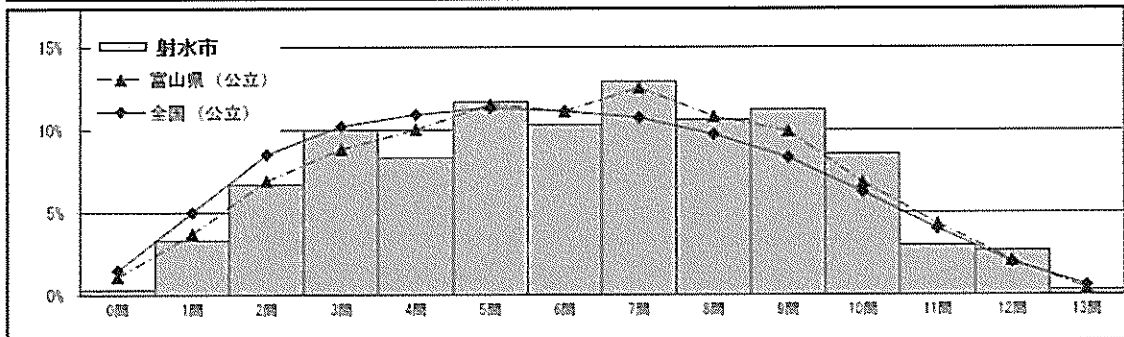
### 小学校算数A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		16	◎ 79.2	78.5	75.2
学習指導要領の領域	数と計算	7	◎ 85.4	81.2	80.1
	量と測定	3	◎ 75.6	73.0	71.3
	図形	1	◎ 66.1	65.9	64.5
	数量関係	2	◎ 89.3	88.9	84.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	7	◎ 81.6	80.8	77.2
	数量や図形についての知識・理解	9	◎ 77.4	76.6	73.6
問題形式	選択式	5	◎ 74.1	73.7	70.5
	短答式	11	◎ 81.6	80.6	77.3
	記述式	0			



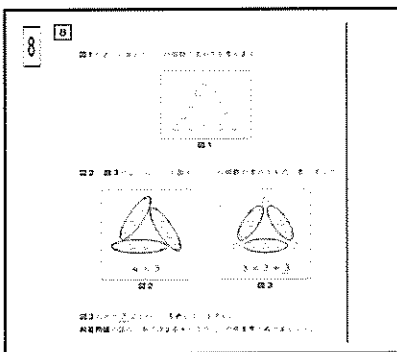
### 小学校算数B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		13	◎ 48.6	47.5	45.0
学習指導要領の領域	数と計算	4	◎ 46.7	44.9	42.4
	量と測定	3	◎ 44.2	43.5	41.7
	図形	7	◎ 48.4	47.7	45.6
	数量関係	3	◎ 47.6	46.3	43.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	◎ 38.6	38.1	35.3
	数量や図形についての技能	2	◎ 64.7	60.7	58.7
	数量や図形についての知識・理解	2	◎ 77.2	76.6	74.9
問題形式	選択式	3	◎ 73.4	72.7	70.6
	短答式	5	◎ 44.6	43.7	42.2
	記述式	5	◎ 37.6	36.1	32.5

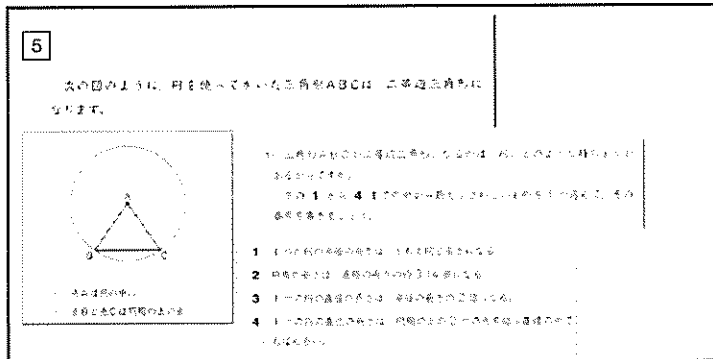


小学校算数

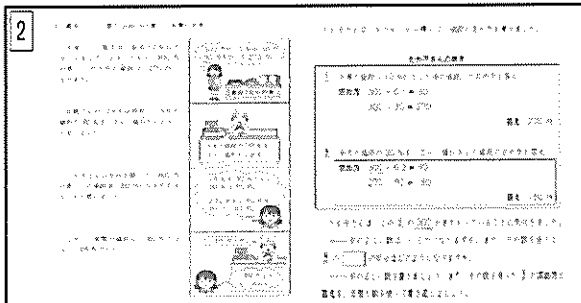
<p>結果の概要</p>	<p>○算数 A、B ともに全ての領域、観点、問題形式において正答率は、全国を 1.6～4.6 ポイント上回っている。全体では算数 A は 0.7 ポイント、算数 B は県平均を 1.1 ポイント上回っている。          ●算数 A の「図形」の領域では、全国平均正答率より 1.6 ポイント上回っているが、他の領域と比べるとやや落ち込みが見られる。算数 B では、県、全国平均を上回っているものの数学的な考え方の観点で 38.6 %、記述式で 37.6 %と平均正答率は低い。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○「数と計算」の領域では、正答率 85.4 %、「数量関係」の領域では、正答率が 89.3 %となっており、概ね計算力が付いている。(設問 1、設問 2、設問 8) 継続した指導が効果をあげているものと思われる。          ●「図形」の領域では、4 問中 2 問が全国平均正答率を 0.5～2.2 ポイント下回っている。特に、二等辺三角形を円の性質と関連付けて捉える問題では、正答率 48.4 %にとどまっている。(設問 5 (1)) <u>問題の場面の図形からいえることを既習事項と関連させながら話したり書いたりできるようにする指導が必要である。</u></p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○「数量関係」の領域では、割り引き後の値段の正しい求め方の問題で、正答率が 61.9%で全国を 10.9 ポイント上回った。(設問 2 (3)) 「数と計算」の領域では、四捨五入し概数にして計算する問題で 58.2 %、切り上げた場合の見積もりの結果を基に考える問題で 65.9 %と全国を 3.9～5.6 ポイント上回っている。(設問 4 (1) (2))          ●「数量関係」の領域では、基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求める問題で正答率が 9.8 ポイントと低く、全国の正答率より 3.3 ポイント下回っている。(設問 2 (2)) <u>問題場面を図に表し数量関係を捉える指導が必要である。</u> 「量と測定」「図形」の領域では、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する問題の正答率が 14.2 %にとどまっている。無解答率も 15.6 %と高い。自分の考えの根拠や理由を明確にして、発表したり書いたりする活動を充実させることが大切である。</p>



(○ A 設問 8 正答率 91.9%)



(● A 設問 5 (1) 正答率 48.4%)



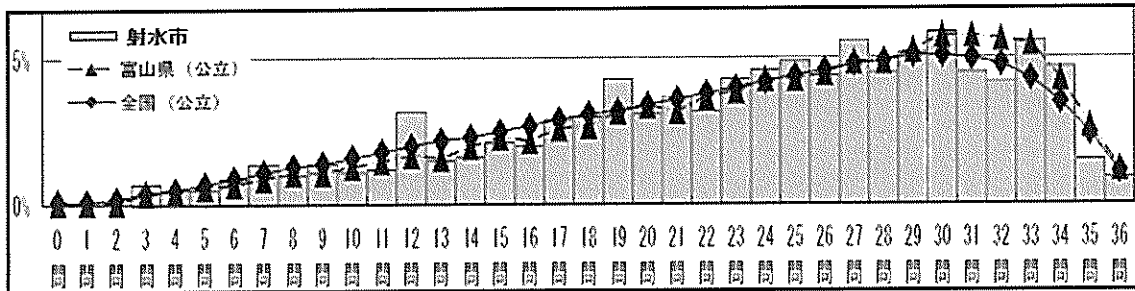
(● B 設問 2 (2) 正答率 9.8%)



(○ B 設問 2 (3) 正答率 61.9%)

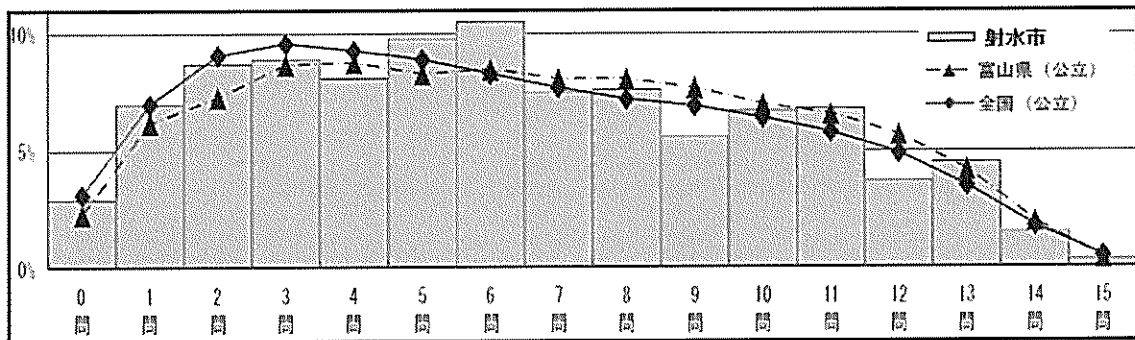
中学校数学A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		36	○ 65.5	67.1	64.4
学習指導要領の領域	数と式	12	○ 69.4	69.7	67.7
	図形	12	○ 64.8	66.7	63.4
	関数	8	○ 62.0	65.1	61.7
	資料の活用	4	△ 62.9	63.6	63.0
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	17	○ 66.5	67.4	65.0
	数量や図形などについての知識・理解	19	○ 64.5	66.7	63.9
問題形式	選択式	19	○ 65.2	67.2	64.6
	短答式	17	○ 65.7	66.9	64.2
	記述式	0			



中学校数学B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		15	○ 42.0	41.5	41.6
学習指導要領の領域	数と式	4	○ 61.1	66.5	63.2
	図形	4	△ 37.5	40.7	39.9
	関数	5	△ 30.1	32.8	30.7
	資料の活用	2	○ 35.6	37.1	31.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	13	△ 42.8	45.1	42.8
	数学的な技能	2	○ 36.5	40.2	24.2
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	4	△ 47.1	50.0	47.9
	短答式	4	○ 49.6	51.4	47.4
	記述式	7	○ 35.2	37.3	34.8



中学校数学

<p>結果の概要</p>	<p>○数学Aの「数と式」「図形」「関数」の領域では、全国の正答率を0.3～1.7ポイント上回っている。数学Bでは「数と式」「資料の活用」の領域で、全国の正答率を0.9～4.4ポイント上回っている。                  ●数学A、Bとも全ての領域、観点、問題形式における正答率は、県を下回っている。特に、数学Aでは「資料の整理」の領域で全国の正答率を0.1ポイント下回っている。数学Bでは「図形」「関数」の領域、「数学的な見方や考え方」の観点、「選択式」の問題形式で全国の正答率を0.3～1.5ポイント下回っている。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○全体の正答率は全国を1.1ポイント上回り、特に直方体の与えられた辺に垂直な面を書く問題では、正答率は80.4%で県を2.9ポイント、全国を10.4ポイント上回っている。(設問5(1))                  ●「関数」の領域では、全国より正答率が8問中4問で下回り特に、反比例のグラフを選ぶ問題では、正答率が57.8%で、全国より3.9ポイント下回っている。(設問10(1))「数と式」の領域では、数量の関係を文字式に表す問題で、正答率が19.8%にとどまっている。(設問2(2))  <u>基準量、比較量、割合を図や表に表すなどして捉え、書いたり話したりする学習活動を行うことが必要である。</u></p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○全体では「数と式」「関数」「資料の活用」の領域、計3問で県の正答率を上回っている。特に、資料の傾向を的確に捉え、判断理由を数学的な表現を用いて説明する問題において、全国の正答率を3.8ポイント上回っている。(設問5(2))                  ●全体では、15問中8問が全国の正答率を下回っている。特に中心角の大きさと半径の間にある関係について正しい記述を選ぶ問題では、正答率が44.1%で全国を2.4ポイント下回っている。(設問6(1))また、図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明する問題では、正答率が18.2%にとどまり、全国より3.0ポイント下回っている。(設問3(2))  <u>既習事項と関連づけて、自分の考えの根拠や理由を説明したり、書いたりする学習活動を工夫する必要がある。</u></p>

5 次の(1)から(4)までの各問に答えなさい。

(1) 下の図の直方体には辺CGに垂直な面がいくつかあります。そのうちの1つを選んで書きなさい。

2 次の(1)から(4)までの各問に答えなさい。

(2) 赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。

赤いテープの長さはa cmです。

赤いテープの長さは、白いテープの長さの $\frac{3}{5}$ 倍です。

白いテープの長さは何cmですか。aを用いた式で表しなさい。

(○A設問5(1) 正答率 80.4%)

(●A設問2(2) 正答率 19.8%)

(2) 二人は、調査結果について話し合っています。

拓也さん「落とし物の合計の平均値が20.3個から19.3個に減ったから、1回目より2回目の方が落とし物の状況はよくなったね。」

優香さん「でも、平均値だけで判断していいのかな。グラフ全体を見ると、よくなったとは言い切れないよ。」

グラフを見ると、優香さんのように「1回目より2回目の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れない」と主張することもできます。そのように主張することができる理由を、優香さんが作ったグラフの1回目と2回目の調査結果を比較して説明しなさい。

(2) 春香さんは、図5のように、絵をかき前BCGFを大きくしたいと、ろえ、図6のように、切れ目となるAC、EGをそれぞれ同じ長さだけ上に伸ばしました。

カードを90°に回したとき、面BCGFが後面に対して垂直に立つようにするには、カードを回していくときに四角形EFGHがいつでも平行四辺形でなければなりません。

このとき、点Fの位置が決まれば由折りにする線分BFをひくことができます。点Fを図6のどこにとればよいですか。点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明しなさい。

図5

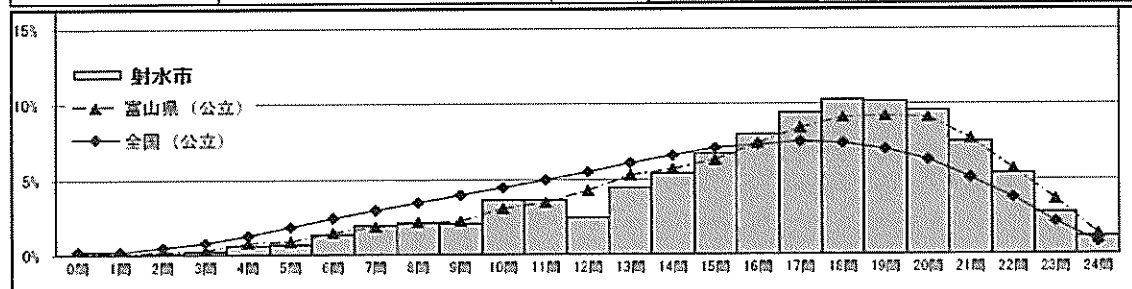
図6

(○B設問5(2) 正答率 27.1%)

(●B設問3(2) 正答率 18.2%)

小学校理科

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		24	◎ 68.0	67.5	68.8
枠組み	主として「知識」に関する問題	9	◎ 68.8	68.2	61.3
	主として「活用」に関する問題	15	◎ 67.5	67.1	60.5
学習指導要領の区分等	A区分	物質	◎ 68.0	65.3	57.4
		エネルギー	◎ 74.5	73.6	65.6
	B区分	生命	◎ 68.0	67.7	61.2
		地球	○ 60.9	62.2	57.8
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0			
	科学的な思考・表現	15	◎ 67.5	67.1	60.5
	観察・実験の技能	5	◎ 64.0	62.5	55.5
	自然事象についての知識・理解	4	○ 74.9	75.3	68.6
問題形式	選択式	18	○ 67.6	68.1	62.9
	短答式	3	◎ 80.9	76.5	63.6
	記述式	3	◎ 57.9	55.0	45.3



小学校理科

結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識」に関する問題では平均正答率 68.8 %と、県を 0.6 ポイント、全国を 7.5 ポイント上回っている。また「活用」に関する問題では、正答率 67.5 %と県を 0.4 ポイント、全国を 7 ポイント上回っている。</li> <li>○全ての区分で全国の正答率を 2.2 ~ 10.6 %上回っているが、B区分「地球」では、県平均を 1.3 ポイント下回っている。</li> <li>○全ての観点で、全国の正答率を 6.3 ~ 8.5 ポイント上回っているが、「知識・理解」では、正答率 74.9 %と県平均を 0.4 %下回っている。</li> <li>○全ての問題において、無解答率は全国を下回っている。</li> </ul>
主として「知識」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識・理解」の観点では、平均正答率 74.9 %と全国の正答率を 6.3 ポイント上回っているが、県平均を 0.4 ポイント下回っている。</li> <li>●月の形と場所を選ぶ問題(設問 4 (2))の正答率は 53.9 %と低く、全国を 2.2 ポイント、県を 2.5 ポイント下回っている。月の形と位置についての学習を、観察した事実と関連付けて確認する必要がある。</li> <li>○「観察・実験の技能」の観点においては正答率 64 %と県を 1.5 %、全国を 8.5 %上回った。特に、メスシリンダーの名称を書く問題の正答率は(設問 3 (4)) 93.8 %と高い。</li> <li>●星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ問題(設問 4 (3))では、51.4 %と全国を 3.9 ポイント、県を 4.2 ポイント下回っている。また、顕微鏡の操作方法の問題(設問 2 (4))では、36.3 %と全国を 1.6 ポイント、県を 2.2 ポイント下回っている。天体の動きを捉え記録する学習や、実験器具を正しく操作する学習に課題があることを踏まえて指導する必要がある。</li> </ul>
主として「活用」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「思考・表現」の観点の平均正答率は、67.5 %と全国を 7.0 ポイント、県を 0.4 ポイント上回っている。水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係の問題(設問 3 (6))は、県を 4.4 ポイント上回ったが、正答率 48.5 %と低い。グラフ結果を基に説明ができるよう書いたり発表したりする学習が必要である。</li> <li>●方位の情報から観察している方位を選ぶ問題(設問 4 (1))が 40 %と全国を 1.0 ポイント、県を 5.5 ポイント下回っている。観察した事実を関連付けて方位を判断する学習の確認を行う必要がある。</li> </ul>

2) まことさんは、この月の月のようすについて次のように記録しました。

まことさん  
ぼくは、おきにも月を見えよ。ゆりえさんの  
通帳では、どのようになっているか  
まことさん  
ゆりえさんの通帳の時と同じ時刻から同じ方位を見るとき  
午後4時の月のようすを次のように記録しています。次の1から4  
までの中から1つを選んで、その番号を書きましょう。

(●設問4 (2) 正答率 53.9%)

3) ゆりえさんは、同じ場所で観察を続けると、茶碗の位置が変わる  
ようすを観察カードに記録しました。そして、観察カードを電卓で  
まことさんに送りました。

ゆりえさん  
場所と観察者かきして  
いんぎんを記録しよう。

観察カードを見るぞ。  
場所のほかにどの時刻  
のものがあつたの。

ゆりえさんの絵から観察カードに記録されている情報から、茶碗の  
位置のほかにどの時刻もかきとると、茶碗の動くようすがわかります。  
次の1から4までの中から1つを選んで、その番号を書きましょう。

- 1 時刻
- 2 茶の位置
- 3 向き
- 4 口が開く向き

(●設問4 (3) 正答率 51.4%)

(4) としおさんは、砂糖水をつくるために、水100 mLを  
右のような器具を使ってはかりとりました。

としおさんが使った器具の名前を書きましょう。

としおさんが  
使った器具

(○設問3 (4) 正答率 93.8%)

3) とし子さんは、ルーペと顕微鏡の子供の中にある葉を調べるために、  
下の図のような器具を使って観察することになりました。

とし子さんが使った器具の名前を書きましょう。

とし子さんが使った器具

3) この器具を使って観察したとき、はじめは左下の図のように明るく、  
ぼけて見えました。そこで、器具を操作したとき、右下の図のように  
はっきり見えるようになりました。このように操作をしました。下の  
1 から 4 までの中から1つを選んで、その番号を書きましょう。

- 1 鏡の向きを調節した。
- 2 調節ねじを回した。
- 3 プレパラートを動かした。
- 4 対物レンズをのぞき覗くものにした。

(●設問2 (4) 正答率 36.3%)

1) としおさんは、20℃の水100 mLを50℃の水と混ぜて、砂糖水  
を作りました。すると、砂糖が溶けだして、砂糖水の  
砂糖を溶かす量が減りました。次の図、を参照して砂糖の溶け  
かかた量を調べよう。

まことさんととしおさんは、水の温度と砂糖の溶けかかたの関係を  
調べました。

水温 (°C)	砂糖の溶けかかた (g)
0	179
5	155
10	141
15	129
20	120
25	112
30	105
35	100
40	95
45	90
50	85

(○設問3 (6) 正答率 48.5%、無解答率 4.4%)

アから、水を通して見れば砂糖が溶かした  
50℃の砂糖水は、20℃の砂糖水よりも  
砂糖が溶ける。

としおさん  
水の温度が上がる時、砂糖の溶ける量が  
減っていくから。

水の温度が上がる時、砂糖水50gの砂糖が6gと溶け  
出したとき、砂糖が溶かなくなったので砂糖水の砂糖が溶か  
なくなった。下の1から4までの中から1つを選んで、その番号を書きま  
しょう。正解の番号を選んで記入を書きましょう。

- 1 糖19g
- 2 糖75g
- 3 糖185g
- 4 糖260g

4) ゆりえさんは、家の入り口の温度を観察しながら、通帳に記入さ  
すことと温度計を準備しようとしていました。

ゆりえさんは、午後8時に通帳を書きました。

まことさんは、この通帳に  
何を記入しているの?

ゆりえさん  
まことさん  
まことさん  
まことさん  
まことさん

ゆりえさんが見ている通帳について、このように通帳が壊れたらまず、  
下の1から4までの中から1つを選んで、その番号を書きましょう。

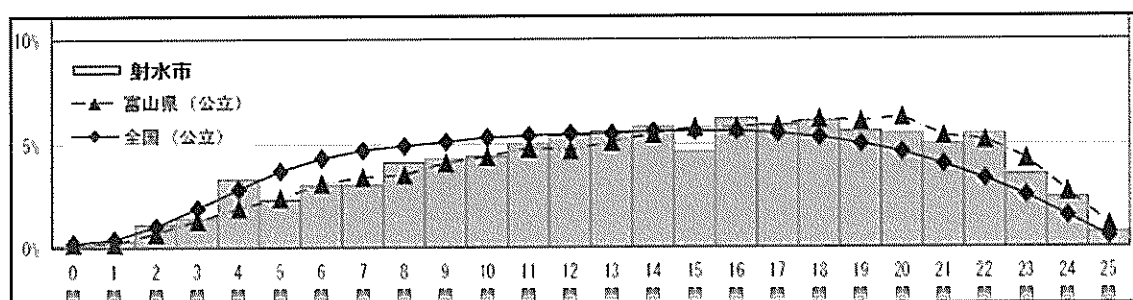
- 1 壊れていない。
- 2 壊れている。
- 3 破れている。
- 4 まことさんとゆりえさんの通帳が壊れた。

(●設問4 (1) 正答率 40.0%)



中学校理科

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		25	○ 57.4	59.2	53.0
枠組み	主として「知識」に関する問題	7	○ 68.8	70.8	63.8
	主として「活用」に関する問題	18	○ 52.9	54.6	48.8
学習指導要領の分野等	第1分野	物理的領域	○ 52.8	54.5	48.9
		化学的領域	○ 60.3	62.2	56.2
	第2分野	生物的領域	○ 67.4	69.7	62.2
		地学的領域	○ 50.7	51.8	46.4
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0			
	科学的な思考・表現	18	○ 52.9	54.6	48.8
	観察・実験の技能	2	○ 49.9	52.3	46.8
	自然事象についての知識・理解	5	○ 76.3	78.2	70.6
問題形式	選択式	16	○ 56.9	58.2	53.1
	短答式	4	○ 69.2	70.8	61.6
	記述式	5	○ 49.3	52.9	45.8



中学校理科

結果の概要	<p>○全ての枠組み、分野、観点、問題形式における正答率は、全国を4.4ポイント上回っている。</p> <p>●枠組みにおける正答率は、主として「知識」に関する問題では県より2.0ポイント、主として「活用」に関する問題では県より1.7ポイント下回っている。問題の形式では、記述式の正答率が49.3%であり、全国を3.5ポイント上回ったが、県平均を3.6ポイント下回っており、<u>自分の考えの根拠や理由を明確にして書いたり発表したりする活動の充実が必要である。</u></p>
主として「知識」	<p>○「知識・理解」の観点では、平均正答率が76.3%であり、全国より5.8ポイント上回っており、特に電圧と電流から抵抗の大きさを求める問題(設問1(1))は、68.5%と高く、県を0.3ポイント、全国を8.9ポイント上回っている。</p> <p>○「観察・実験の技能」の観点では、正答率が49.9%で、全国より3.1ポイント上回っている。</p> <p>●特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水の質量を求める問題(設問1(1)濃度)は、51.4%と県より2.9ポイント下回り、さらに無解答率は14.3%と県平均より1.2ポイント上回っている。<u>割合の計算に課題があり、類似問題等で理解を深めることが必要である。</u></p>
主として「活用」	<p>○「科学的な思考・表現」の観点では、平均正答率52.9%で、全国より3.3ポイント上回っている。特に、多くの雨が降る原因を探る実験を計画する問題(設問3(2))は正答率が48.3%で、県より3.5ポイント、全国より9.3ポイント上回っている。また、音の波形から音の高さが高くなった根拠を選ぶ問題(設問6(1))は、正答率が46.4%と全国より6.3ポイント、県より0.6ポイント上回っている。</p> <p>●雲の成因を説明した他者の考えを検討する問題(設問2(3))の正答率は17.1%で、全国より2.6ポイント上回っているが、県より2.8ポイント下回っている。無解答率8.9%で、全国、県よりも上回っている。また、電磁石の磁界の変化を説明する問題(設問5(2))の正答率は61.1%で全国より4.3ポイント上回るが、県平均より3.9ポイント下回り、無解答率は28.5%と県より6.6ポイント上回っている。間違いを指摘し正しい答えを導く問題や、理由を指定された言葉を使って説明する問題に課題が見られる。<u>観察・実験の結果などの根拠に基づいて検討し改善する力を身に付けるよう、自分の考えを明確にして書いたり発表したりする学習活動を充実させる必要がある。</u></p>

**【方法Ⅰ】**  
磁石を電磁石に置きかえ、電磁石を矢印のように動かす(図2)。  
**【結果】**  
検流計の針が振れた。

**【方法Ⅱ】**  
図2の装置で、電磁石は動かさず、スイッチを入れたり切ったりする。  
**【結果】**  
検流計の針が振れた。

図2

(1) 図2では、回路全体に大きな電流が流れないように、抵抗を接続しました。抵抗に加わる電圧が5.0Vのとき、流れた電流は0.5Aでした。接続した抵抗の大きさは何Ωですか。式と答えを書きなさい。

(○設問 5 (1) 正答率 68.5%)

**入浴剤の記事に関すること!**

貞子：入浴剤の主な原材料には、塩化ナトリウムがあるんだね。  
太朗：そうだね。風呂のお湯に溶かすと温度はどのくらいかな。

(1) 塩化ナトリウムの化学式として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。また、5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために、必要な塩化ナトリウムと水の質量は、それぞれ何gですか。

ア NaCl    イ ClNa    ウ NaCl    エ ClNa

(●設問 1 (1) 濃度 正答率 51.4% 無解答率 14.3%)

**レポートの一部**

**【目的】**  
一定の容積に多くの湯が降る条件は何だろうか。

**【予想】**  
天気予報の解説から、「地上の空気の水蒸気量」と「上空と地上の気温差」の2つの条件が関係しているのではないかと予想した。

**【方法】**  
AからDまでの方法(図2)で、一定の容積に「金属の容器」の底につく水滴の様子を比較する。  
① 「地上の空気の水蒸気量」による違いを調べるためには、AとCを比較する。  
② 「上空と地上の気温差」による違いを調べるためには、 X を比較する。

図2

(2) 【方法】の X に入る最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア AとB    イ AとD    ウ BとC    エ BとD

(○設問 3 (2) 正答率 48.3%)

6 電子さんは、コップに水を注いでいると、聞こえる音の高さがしだいに高くなることに興味をもち、音の高さの変化を調べる実験を行いました。

(1)と(2)の各問いに答えなさい。

**レポートの一部**

**【装置】**  
「目盛りをつけた容器」に水もぎきかけると、音の高さはどのように変化するのだろうか。

**【方法】**  
音の高さを調べる(図1)。

図1

**【結果】**  
図2のグラフを比べると、「注ぎ始めたとき」より「しばらく経ったとき」の方が W になっているので、音の高さは高くなったと考えられる。

図2

**【考察】**  
図2のグラフを比べると、「注ぎ始めたとき」より「しばらく経ったとき」の方が W になっているので、音の高さは高くなったと考えられる。

(1) 【考察】の W には当てはまる正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア 振動数が多く    イ 振動数が少なく  
ウ 振幅が大きく    エ 振幅が小さく

(○設問 6 (1) 正答率 46.4%)

(3) 音楽さんは、5島の上空にだけ湯が降ることに疑問をもったので、**資料1**の図2、図3と表をもとに、その理由を下のアからエのように考えました。その理由を見直したところ、誤りに気づきました。誤りのあるものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。また、誤らぬものを直して書き直しなさい。

ア 水蒸気は比較的多く、くた空気がかたまりは、5島の山の斜面に沿って上昇する。  
イ 上昇した空気のかたまりが膨張し、温度が下がる。  
ウ 空気のかたまりの温度が、露点に達する。  
エ 水蒸気が冷やされて水蒸気になり、雲ができる。

(●設問 2 (3) 正答率 17.1% 無解答率 8.9%)

**【方法Ⅰ】**  
磁石を電磁石に置きかえ、電磁石を矢印のように動かす(図2)。  
**【結果】**  
検流計の針が振れた。

**【方法Ⅱ】**  
図2の装置で、電磁石は動かさず、スイッチを入れたり切ったりする。  
**【結果】**  
検流計の針が振れた。

図2

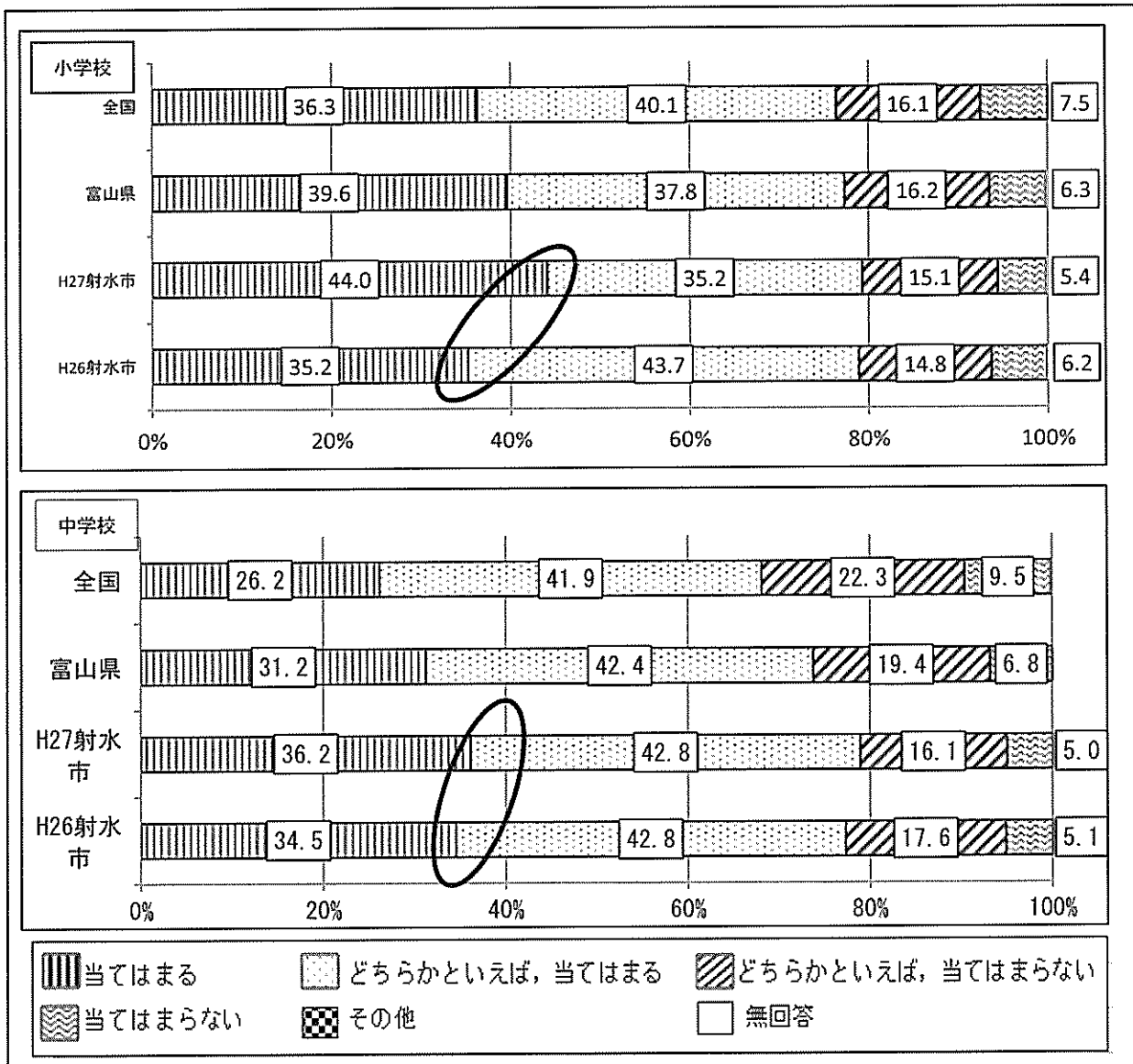
(1) 【方法Ⅰ】で、検流計の針が振れた理由を「磁界」という言葉を使って書きなさい。

(●設問 5 (2) 正答率 61.1% 無解答率 28.5%)

### 3 質問紙調査に関する結果の状況及び考察

【自尊感情】(児童生徒質問紙より)

Q1 自分には、よいところがあると思いますか。 望ましい傾向



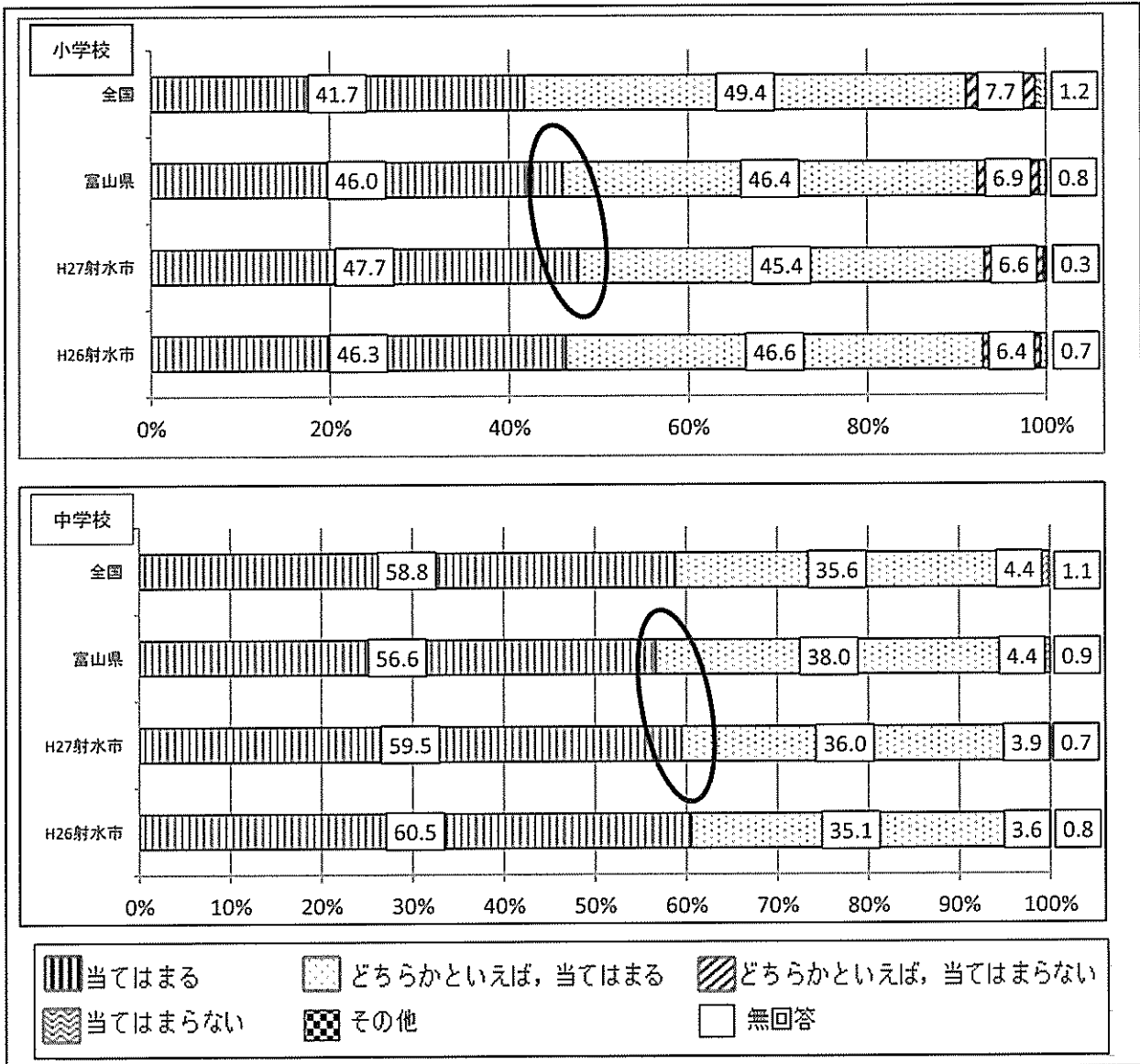
#### 【考察】

小学校で「当てはまる」児童の割合は、全国平均より7.7ポイント高く、県平均よりも4.4ポイント高い。中学校で「当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、10.0ポイント高く、県平均よりも5.0ポイント高い。小学校、中学校ともに、「当てはまる」と答えた割合が小学校では、8.8ポイント、中学校では1.7ポイント上昇した。

小中学校ともに高い割合で、市全体で自尊感情を育てる取組をしてきた成果が表れたと考えられる。今後とも、「自己有用感」「共感的な人間関係」「自己決定」の充実を図っていくことが大切である。

【規範意識】（児童生徒質問紙より）

Q2 学校の規則を守っていますか。



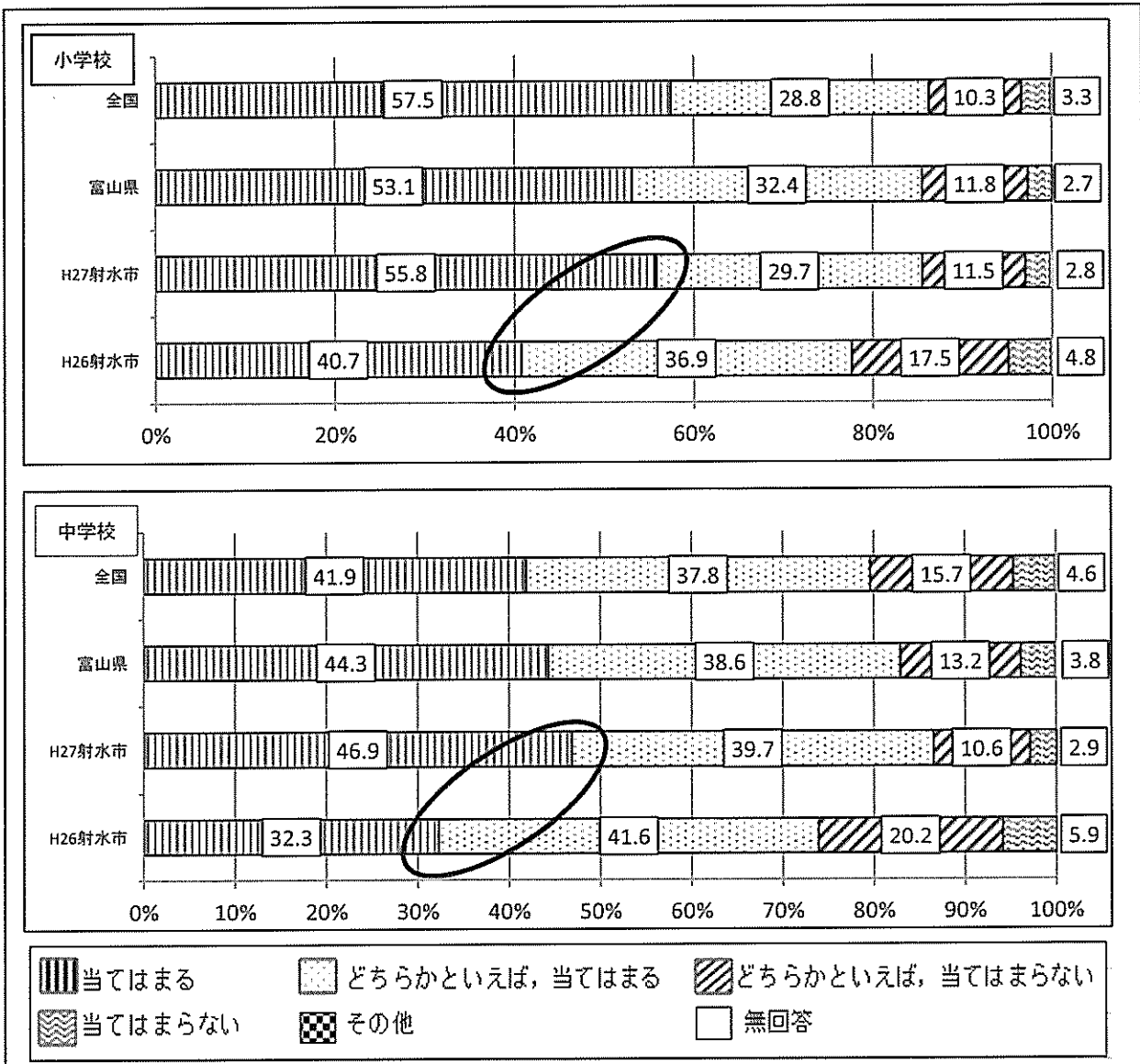
【考察】

小学校で「当てはまる」児童の割合は、全国平均より6.0ポイント高く、県平均よりも1.7ポイント高い。中学校で「当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、0.7ポイント高く、県平均よりも2.9ポイント高い。昨年度と同様に、小学校、中学校ともに高い割合であったが、小学校で「当てはまる」と答えた児童は1.4ポイント上昇したが、中学校では1.0ポイント減少した。

自尊感情の高まりが、学校生活上の規範意識の高まりにつながっていると考えられる。

【授業】（児童生徒質問紙より）

Q3 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。



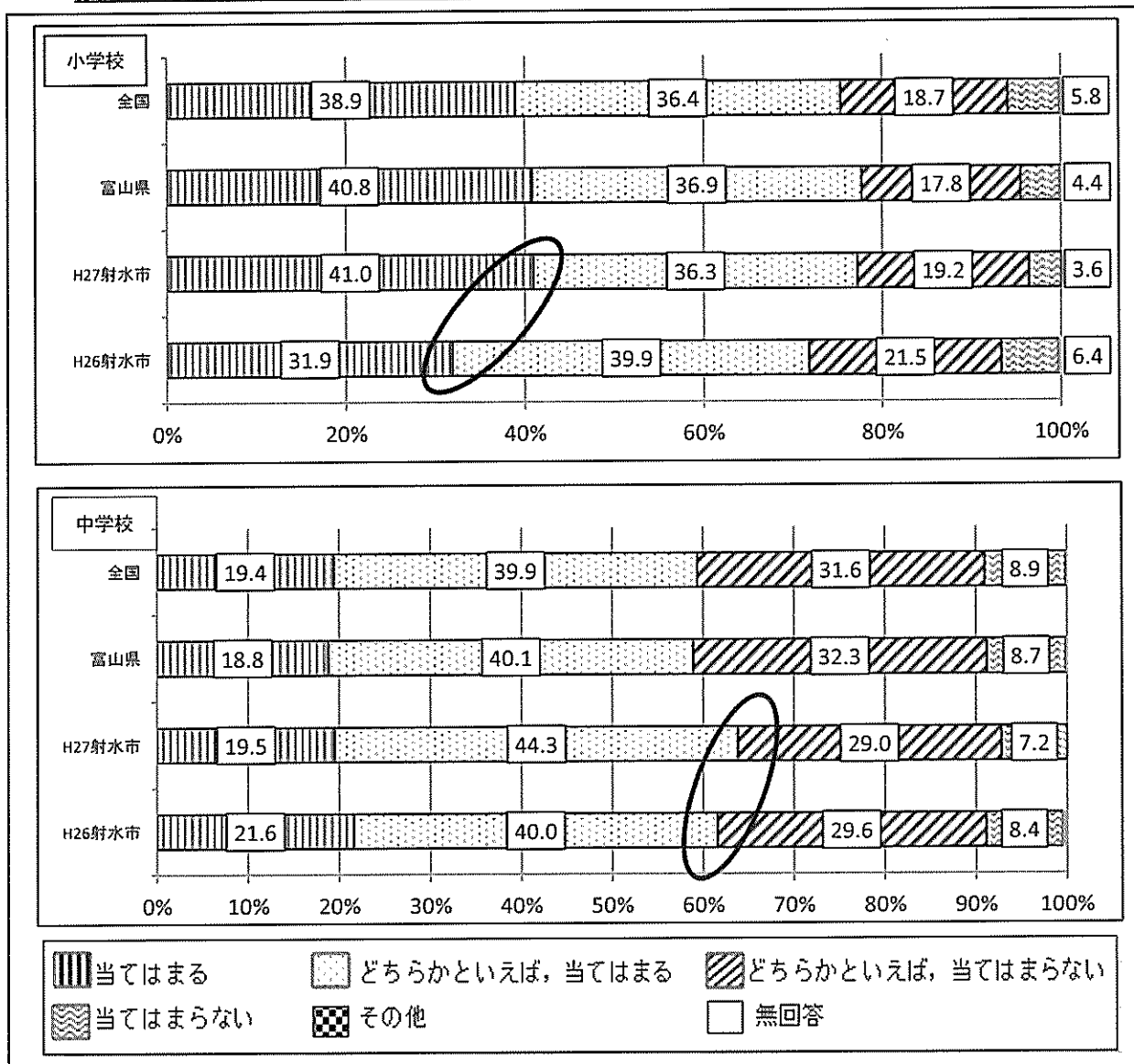
【考察】

小学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」児童の割合は、全国平均より0.8ポイント低く、県平均とは同ポイントであった。中学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、6.9ポイント高く、県平均よりも3.7ポイント高い。小学校、中学校ともに昨年度よりも高く、特に、「当てはまる」と答えた割合が小学校では、15.1ポイント、中学校では14.6ポイント上昇した。

小中学校ともに昨年度に比べ、目標をしっかりと示した授業が展開されている。しかし、小学校では全国平均をやや下回っている。今後も、目標を示した授業が展開されるように授業改善を進める必要がある。

【授業】（児童生徒質問紙より）

Q4 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。



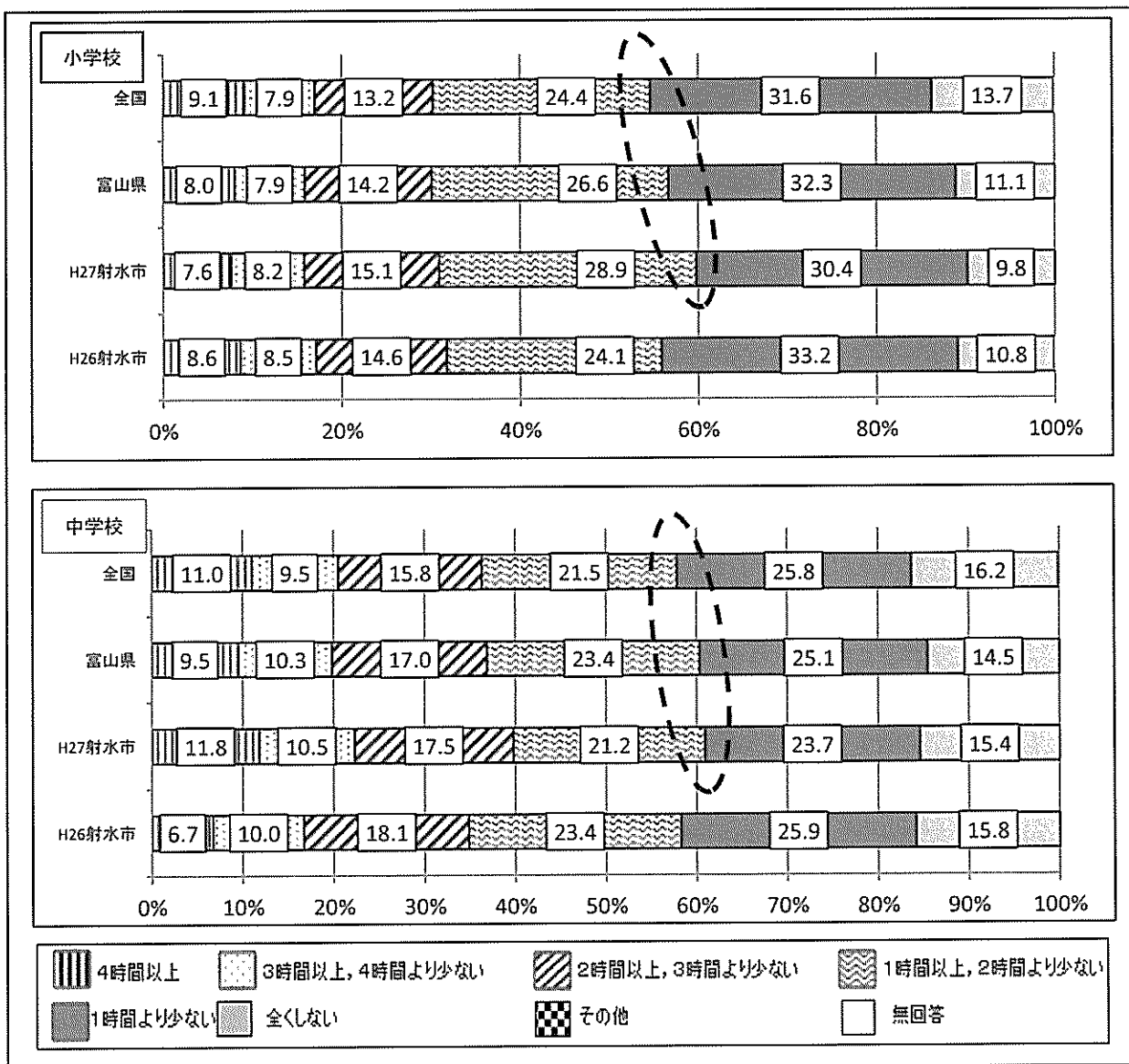
【考察】

小学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」児童の割合は、全国平均より2.0ポイント高く、県平均より0.4ポイント低かった。中学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、4.5ポイント高く、県平均よりも4.9ポイント高い。小学校、中学校ともに昨年度よりも高く、特に「当てはまる」と答えた割合が小学校では、9.1ポイント増加した。中学校では「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が2.2ポイント増加した。

小中学校ともに、「授業のはじめに目標が示されていたか」の項目に比べ、「当てはまる」と答えた割合が低い結果となった。振り返り活動を行う教師の授業改善があまり進んでいない。学習した内容を確実に振り返るように改善していく必要がある。



Q5 普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



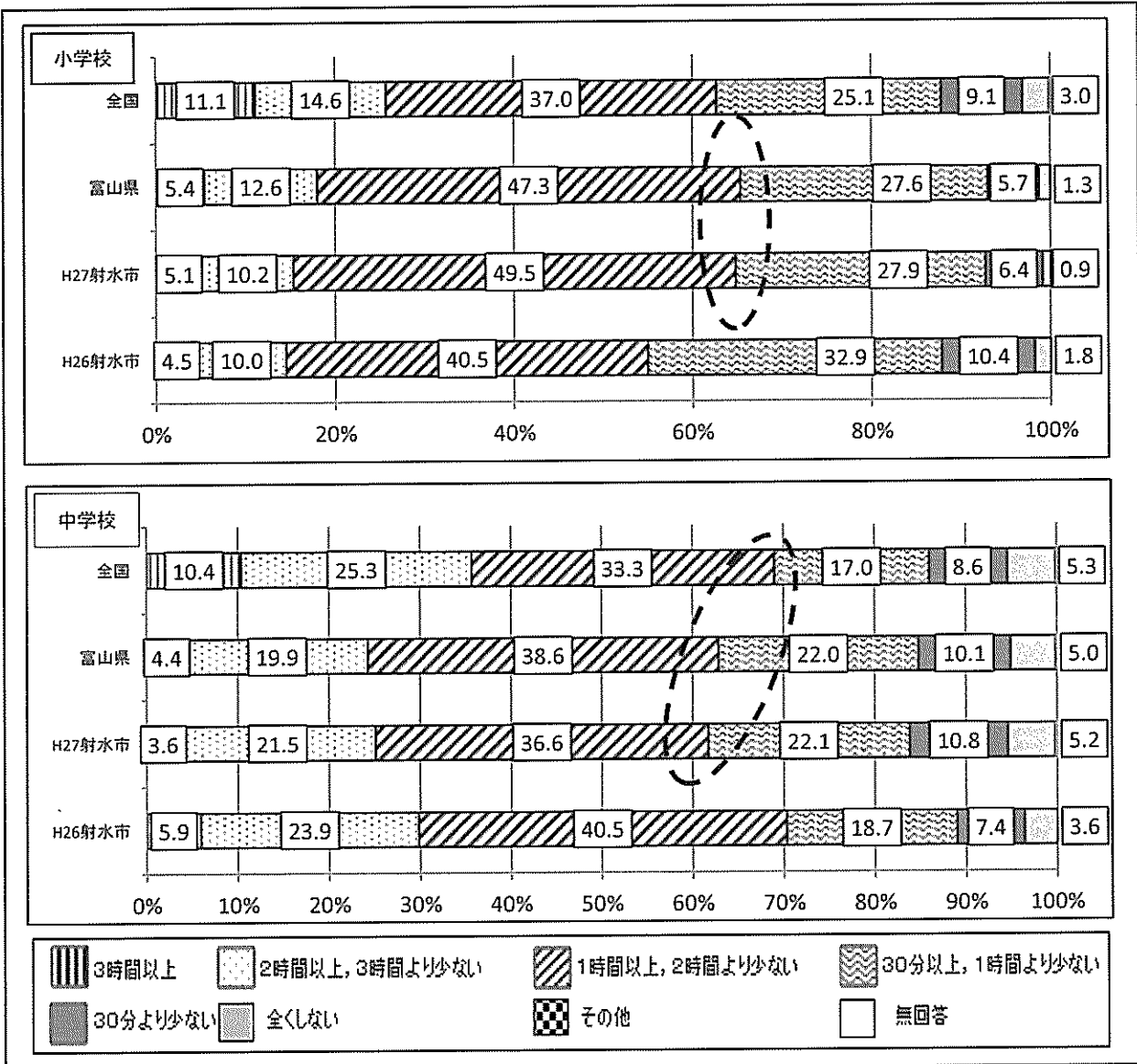
【考察】

小学校で「普段（月～金曜日）の1日あたりのゲームをする時間が1時間以上」の児童の割合は、全国平均より5.2ポイント高く、県平均より3.1ポイント高い。中学校で「普段（月～金曜日）の1日あたりのゲームをする時間が1時間以上」の生徒の割合は、全国平均より、3.2ポイント高く、県平均よりも0.8ポイント高い。小学校、中学校ともに昨年度よりも高くなり、特に中学校で「4時間以上」と答えた割合が5.1ポイント増加した。

小中学校ともに、スマートフォンやタブレットの普及に伴い、今後もゲームをする時間や割合が増加していく可能性がある。使用時間の家庭でのルールづくりや生活習慣の改善に向けた取組をしていく必要がある。

【家庭学習】（児童生徒質問紙より）

Q6 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）。



【考察】

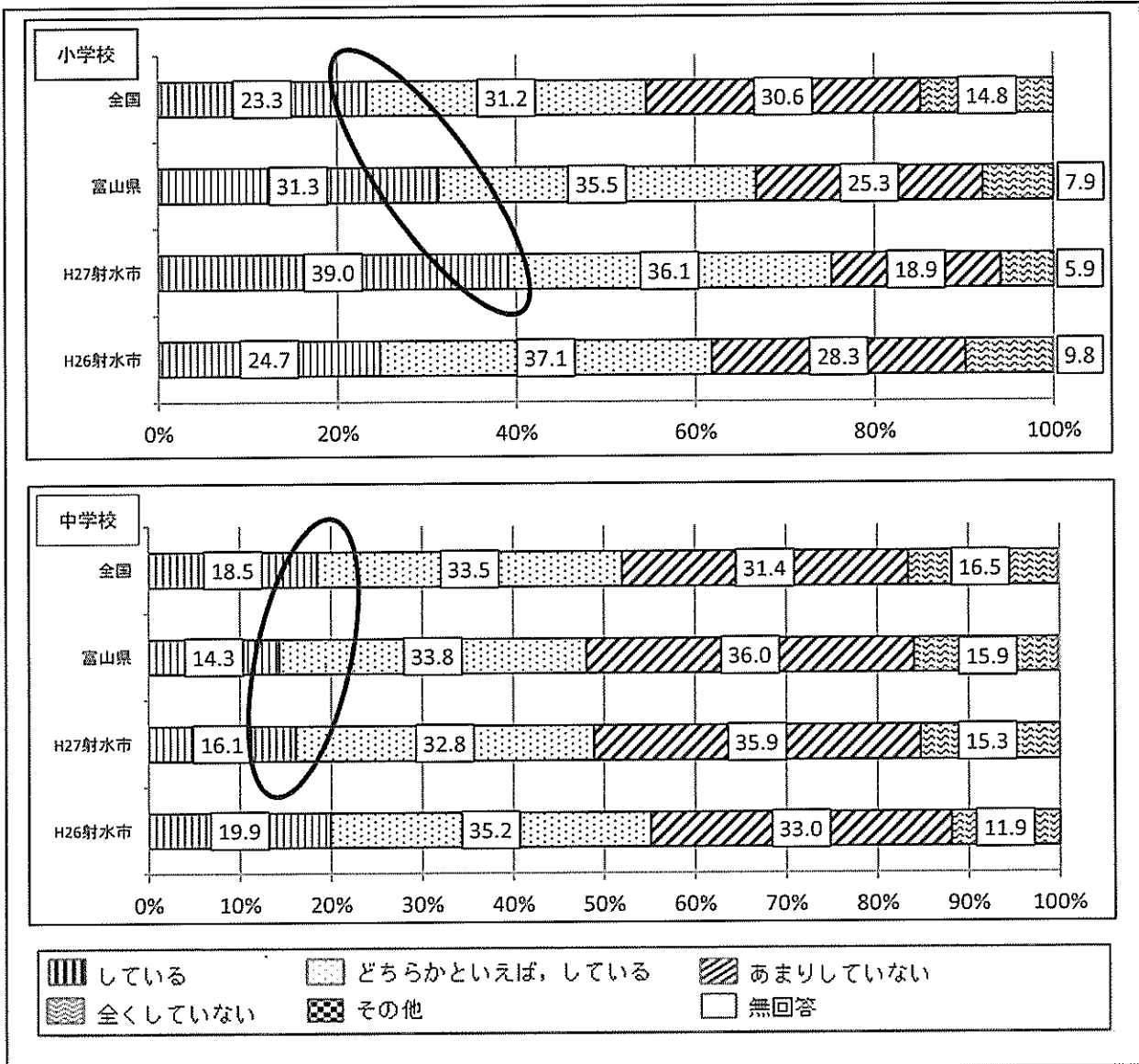
小学校で「普段（月～金曜日）の1日当たりの勉強時間が1時間以上」の児童の割合は、全国平均より2.1ポイント高く、県平均より0.5ポイント低い。中学校で「普段（月～金曜日）の1日当たりの勉強時間が1時間以上」の生徒の割合は、全国平均より7.3ポイント低く、県平均よりも1.2ポイント低い。一方、小学校で「1時間未満」と答えた児童の割合は全国平均より2.0ポイント低く、県平均より0.6ポイント高い。中学校で「1時間未満」と答えた割合は全国平均より7.2ポイント高く、県平均より1.0ポイント高かった。

昨年度と比較すると、小学校で「全くしない」と答えた児童の割合は0.9ポイント減少した。昨年度からの指導がよい結果として表れた。しかし、中学校では「全くしない」と答えた生徒の割合は1.6ポイント増加した。家庭学習の時間が減少傾向にある原因の一つとして、ゲーム等に時間を費やす生徒の割合が増加していることが考えられる。家庭学習の定着に向けて、指導を充実させ、一層の改善を図る必要がある。



【授業の復習】（児童生徒質問紙より）

Q7 家で、学校の授業の復習をしていますか。



【考察】

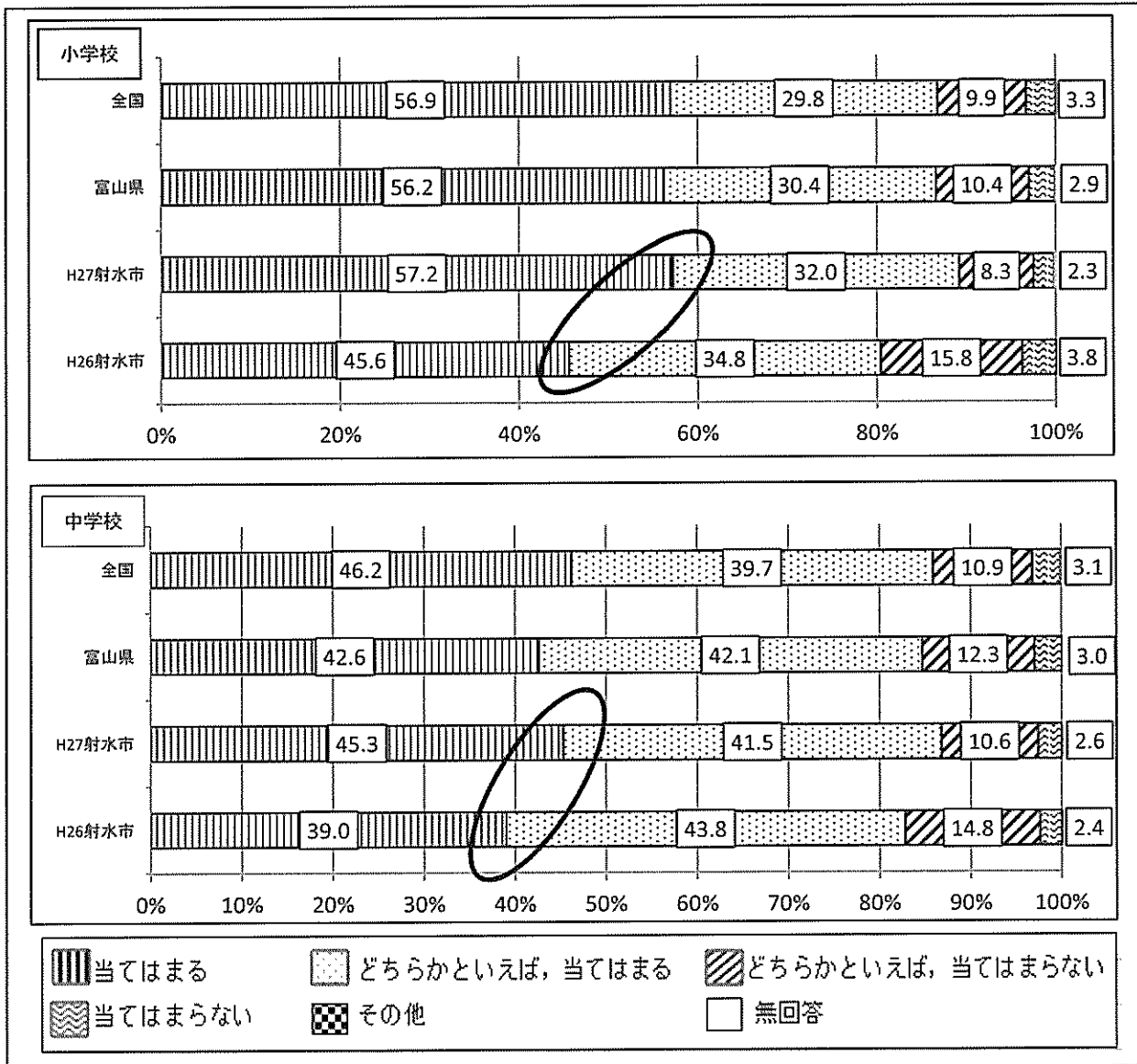
小学校で「している」割合は、昨年度に比べて14.3ポイント高くなっており、全国平均よりも15.7ポイント、県平均よりも7.7ポイント高い結果となった。また、「している」「どちらかといえばしている」割合では75.1ポイントに達している。

一方で、中学校では、「している」割合は、昨年度に比べて3.8ポイント低くなっている。また、全国平均より2.4ポイント低い、県平均よりは1.8ポイント高い結果となっている。

小学校で復習の定着に改善がみられた要因のひとつとしては、市で取り組んでいる「家庭学習ノート」を活用している児童が増えたことが考えられる。

【発表の機会】（児童生徒質問紙より）

Q8 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。



【考察】

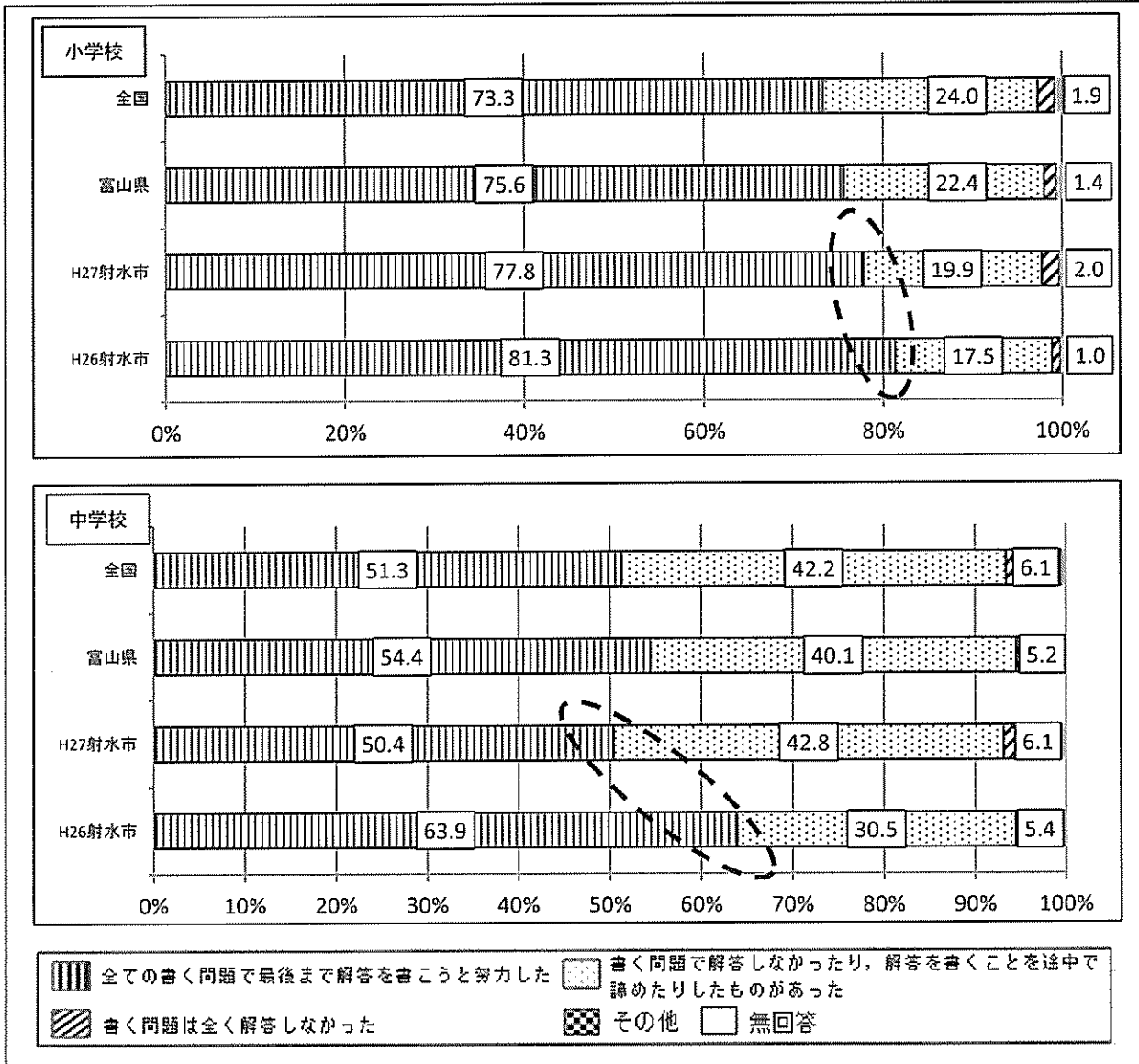
小学校の「当てはまる」割合は、昨年度に比べて11.6ポイント高くなっており、全国平均、県平均よりも高い結果となった。また、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合では89.2ポイントに達しており、全国平均、県平均よりも高くなっている。

中学校でも「当てはまる」割合が昨年度に比べて6.3ポイント高くなっており、全国平均からは若干低くなっているものの、県平均より高い結果となっている。また、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合では86.8ポイントに達しており、小学校と同様に全国平均、県平均よりも高くなっている。

授業中に考えを発表する機会が与えられていたと感じる児童生徒の割合が小中学校ともに高くなっていることから、「分かる授業」「学び合う授業」の実践がなされていることが伺える。また、授業で発表することが、児童生徒の自尊感情の高まりにもつながっていると考えられる。

【算数・数学】（児童生徒質問紙より）

Q9 言葉や数、式を使ってわけや求め方などを書く問題は、どのように解答しましたか。



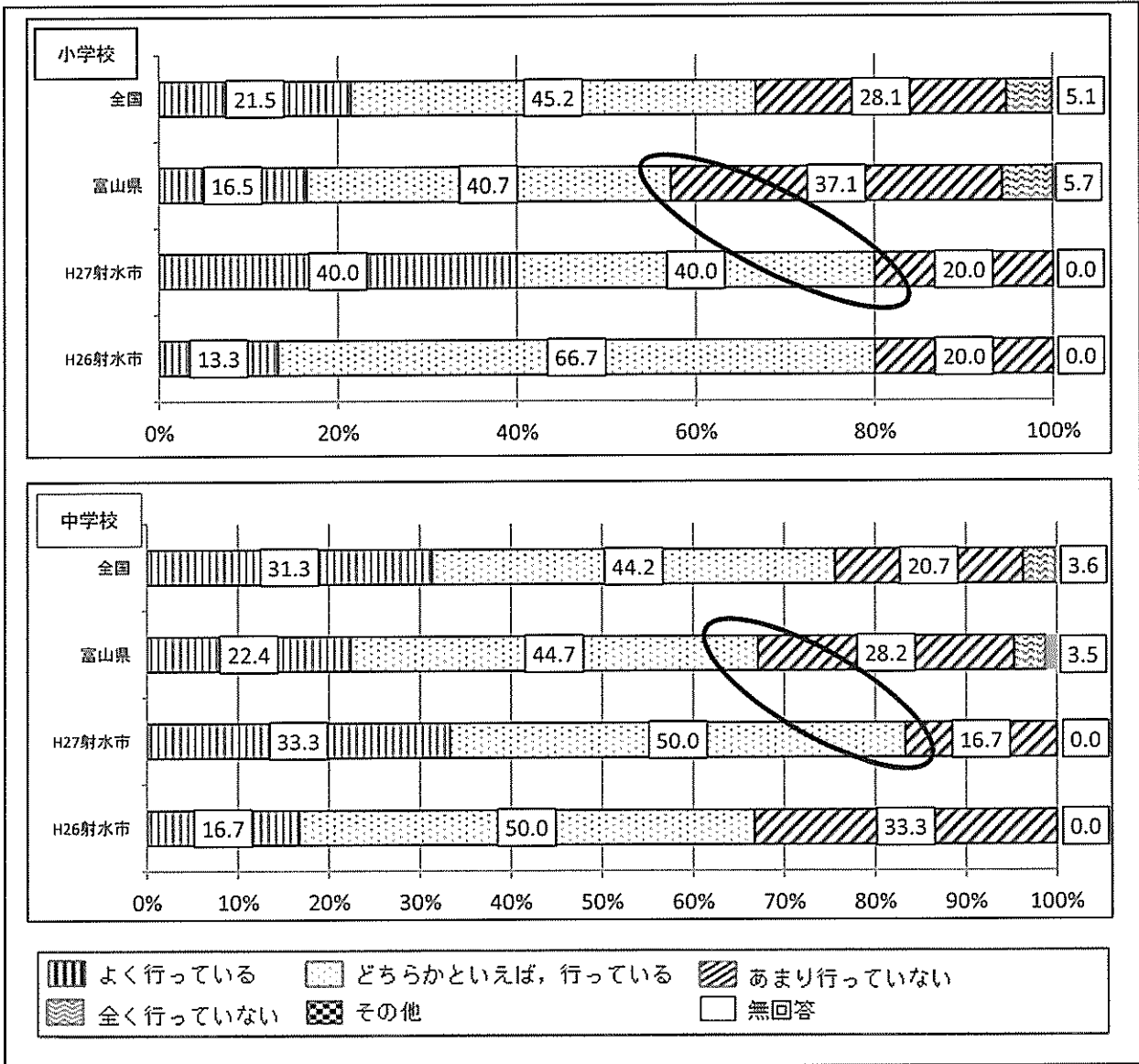
【考察】

小学校の「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合は、全国平均、県平均よりも高い結果となったものの、昨年度に比べて3.5ポイント低くなっている。中学校でも「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合は、昨年度に比べて13.5ポイント低くなっており、全国平均、県平均よりも低い結果となっている。

小中学校ともに、算数・数学の論理的に記述する問題への取組を最後まで努力することには課題がある結果となっている。苦手意識を減らし、あきらめずに取り組むことができるような手立てを考えていく必要がある。

【小中連携】（学校質問紙より）

Q10 近隣の小学校と連携（教師の合同研修，教師の交流，教育課程の接続など）を行っていますか。



【考察】

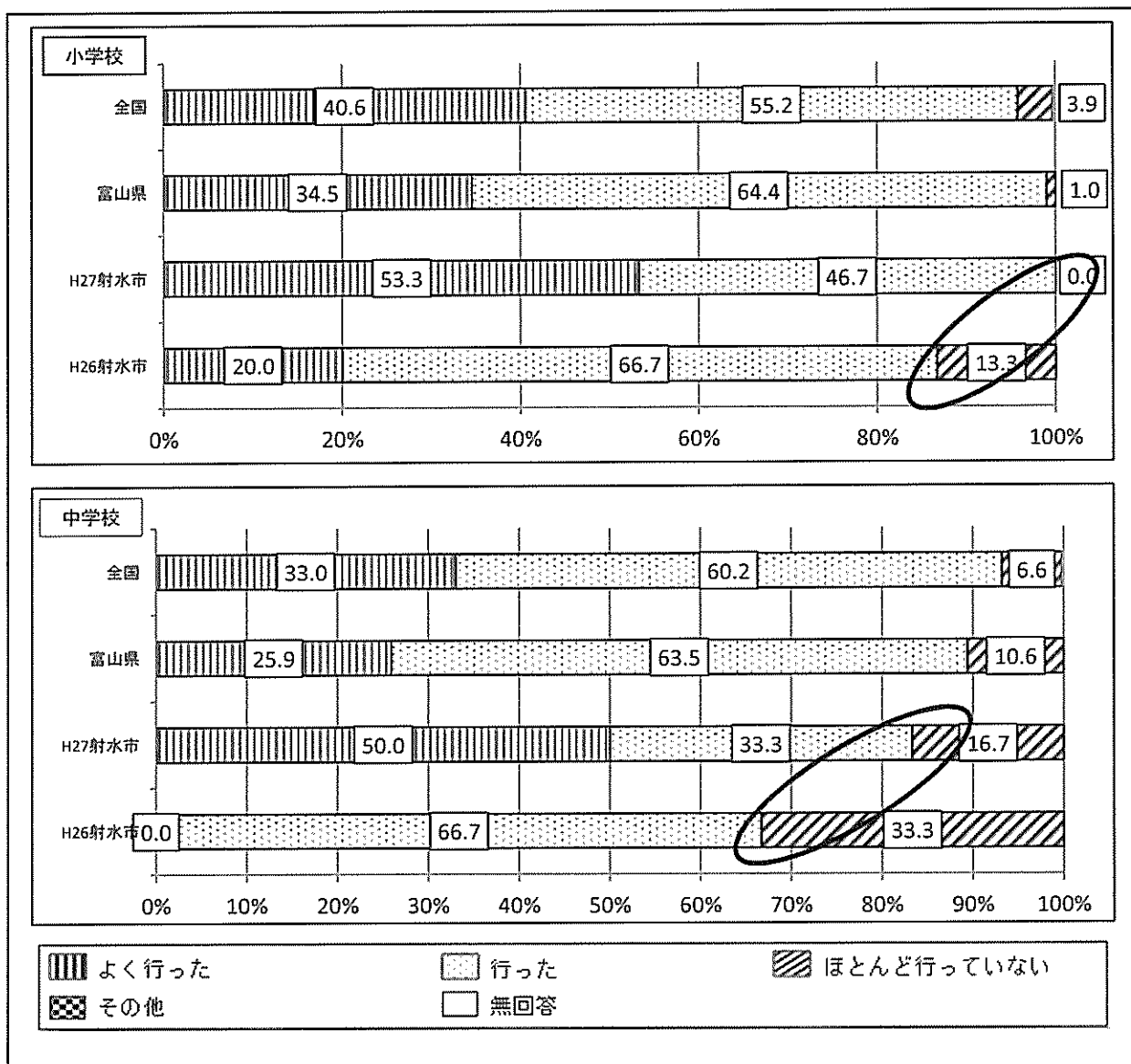
小学校で「よく行っている」割合は、昨年度から大幅に高くなり40ポイントに達しており、全国平均、県平均と比べても約20ポイント高い結果となっている。また、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」割合では80ポイントに達している。

中学校も、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」割合は83.3ポイントに達し、全国平均、県平均と比べて高い結果となっている。

要因には、市内各中学校区を単位として行っている小中教員の合同研修会の実施が挙げられる。学習面の取組や課題点を共有することで、より活発に小中の連携が行われていると考えられる。

【教育活動の改善】（学校質問紙より）

Q11 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。



【考察】

小学校の「よく行った」割合は53.3ポイントで、昨年度と比べて33.3ポイント高くなっている。また、県平均、全国平均と比較しても高い結果となっている。「よく行った」「行った」割合が100ポイントに達している。中学校も「よく行った」「行った」の割合が、高い結果となっている。

市内の小中学校ともに、昨年度の全国学力・学習状況調査の分析結果を、以前よりも積極的に各校の教育活動の改善に活用していることが分かる。

#### IV 今後の射水市の取組

#### IV 今後の射水市の取組

射水市教育振興基本計画（平成 27 年 2 月）施策に明記された「確かな学力の定着」に鑑み、学力向上委員会では、以下のように重点的に取り組むべき事項を提示する。

- ① 全ての児童生徒が分かる授業を目指した研修の充実
- ② 基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得
- ③ 活用（思考力・判断力・表現力等）する力の育成
- ④ 基本的生活習慣の確立・学習習慣の定着

#### ◇具体的方策

##### ① 全ての児童生徒が分かる授業を目指した研修の充実

- 「射水スタンダード ～授業の ABC～」を作成し、授業を行うにあたっての基本的な指導事項を共通理解し、実践する。
- 射水市マイスター教員を任命し、優れた授業実践を、特に若手教員に公開し、実践的指導力の向上を図る。
- 若手教員指導力向上のため、互いに切磋琢磨できる研修の場を設定する。
- 全国学力・学習状況調査を分析し、その結果の活用について研修会を実施し、各校で児童生徒が分かる授業づくりや生活の改善に向けて取り組む。
- 小中教研学力調査等の結果を活用し、学習内容の定着度を把握し、授業改善や個別学習の充実に活かす。
- 全ての中学校区で小中連携合同研修会を実施し、学習指導での積極的な連携を推進する。また、学力向上研究委託校を中学校区単位で指定する。
- 「学級診断尺度調査（Q-U 調査）」を実施し、調査結果を活用して、望ましい学級集団づくりのための研修の場を、各校で設定する。

## ② 基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得

- 学習につまずいている児童生徒の学力の定着を図るため、補充的な学習サポートなど、個に応じた指導の場を工夫する。
- 中学校では、長期休業中等に、大学生等を講師とした補充的な学習を実施し、学力補充の機会を確保する。
- 単元確認問題（総教セホームページまたはall-ed 100教育センター）や、e-ライブラリーの問題等を有効に活用する。
- 中学校入学時に射水市新入生テストを行い、小学校の基礎的学習内容の定着の状況をきめ細かく把握し、今後の指導に活かす。

## ③ 活用（思考力・判断力・表現力等）する力の育成

- 自分の考えをもつ、論理的に整理する、学習の成果の確認をするなど、目的を明確にした「書く活動」を充実させる。
- 全国学力調査問題を活用した「B 問題に挑戦 一学年別プリント集一」（県教委作成）や「授業アイデア例」（文科省作成）を年間指導計画に位置付けて授業等で活用する。

## ④ 基本的生活習慣の確立・学習習慣の定着

- 身に付けさせたい学習規律を明確にし、指導を徹底する。
- 各校で、家庭での学習習慣の定着を図る。また、授業内容と関連した家庭での学習課題を工夫する。
- 各校の「家庭学習の手引き」や「家庭学習の仕方」等のデータを市内で共有し、有効活用する。
- メディア使用時間のルール作りのための取組を検討し、実践する。
- 家庭との連携を図りながら、「早寝、早起き、朝ご飯」の指導を推進する。
- スポーツ少年団や中学校部活動の活動日、活動時間の在り方を PTA と連携して検討する。



## 平成27年度 夏休み補充学習の結果について

- 1 目的 学習習慣の定着を身に着けさせるとともに、学習意欲の向上と確かな学力の定着を図る。
- 2 期間 平成27年8月10日(月)～8月26日(水)
- 3 開催回数 各中学校5回 延べ30回開催
- 4 延べ参加生徒数 815人(平均参加率17.1% 最大25.2%、最小13.0%)
- 5 延べ学生講師数 115人(富山国際大学、富山県立大学、富山高等専門学校)
- 6 生徒数/講師数 平均7.1人(最大10.3人、最小4.8人)
- 7 成果
  - ・少人数で集中しやすい環境の中で学習に取り組めた。
  - ・講師と年齢が近く、また、室内の巡回や声掛けなどにより気軽に質問しやすかった。
  - ・わからない問題が解けるようになり、自信を持つ生徒が増えた。
- 8 課題
  - ・高校のオープンキャンパスや運動会の準備などと重なり、参加生徒の変動が大きく、生徒が少ない時もあった。
  - ・多くの学生が講師となったため、生徒が慣れ親しむまで時間がかかった。
  - ・参加生徒に対して適切な講師学生の配置や、講師の得意な教科に配慮した配置が課題であった。

## 参加状況等

学校名、対象者数		
新湊中学校 生徒数 92人	延べ参加生徒数	116人
	生徒平均参加率	25.2%
	延べ学生講師数	13人
	生徒数/講師数	8.9人
新湊南部中学校 生徒数 79人	延べ参加生徒数	62人
	生徒平均参加率	15.7%
	延べ学生講師数	9人
	生徒数/講師数	6.9人
射北中学校 生徒数 154人	延べ参加生徒数	167人
	生徒平均参加率	21.7%
	延べ学生講師数	30人
	生徒数/講師数	5.6人
小杉中学校 生徒数 250人	延べ参加生徒数	192人
	生徒平均参加率	15.4%
	延べ学生講師数	23人
	生徒数/講師数	8.3人
小杉南中学校 生徒数 123人	延べ参加生徒数	114人
	生徒平均参加率	18.5%
	延べ学生講師数	24人
	生徒数/講師数	4.8人
大門中学校 生徒数 253人	延べ参加生徒数	164人
	生徒平均参加率	13.0%
	延べ学生講師数	16人
	生徒数/講師数	10.3人
合計 生徒数 951人	延べ参加生徒数	815人
	生徒平均参加率	17.1%
	延べ学生講師数	115人
	生徒数/講師数	7.1人

## 平成 27 年度 イングリッシュキャンプの結果について

## 1 目的

A L T 等との英会話中心の共同生活を通して、英語に対する興味・関心を高めると共に、異文化理解を深める目的で 1 泊 2 日の宿泊事業を実施する。

## 2 期間

平成 27 年 8 月 25 日（火）から平成 27 年 8 月 26 日（水）まで（1 泊 2 日）

## 3 場所

富山県砺波青少年自然の家（砺波市徳万字赤坂 17-5）

## 4 参加児童生徒（24 名）

- (1) 小学生 18 名（男子 2 人、女子 16 人）
- (2) 中学生 6 名（男子 3 人、女子 3 人）

## 5 指導者及び引率者（14 名）

- (1) A L T 等 6 名（A L T 4 名、C I R 1 名、外国語指導員 1 名）
- (2) 教諭 4 名
- (3) 教育委員会職員 4 名

## 6 活動内容

## (1) 1 日目（8 月 25 日）

- ・ 英語活動 I  
各ブース（ソング・ダンス、ゲーム、クラフト）をまわり、外国の歌やダンス等を体験する。
- ・ 夜のつどい  
英語活動 I の内容を全体で振り返る。

## (2) 2 日目（8 月 26 日）

- ・ 体験活動  
木のマイスプーンを作り、お土産とする。
- ・ 英語活動 II  
外国のおやつを紹介し、紹介されたおやつを試食する。
- ・ 英語で発表  
テーマを決めて、中学生が 2 グループに分かれ発表する。

## 7 感想（□は中学生の感想）

- ・ 自分で作った作品を英語で紹介する事ができたのがうれしかったです。
- ・ 英語を使えるか不安だったけど、がんばって聞き取り、答えられるよう努力しました。分かる単語を探して答えることができうれしかったです。

- ・おやつ作りで、全部の英語の意味はわからなかったけど、数を聞き取ることができました。
- ・他の学校の友達と仲良くできて楽しかったです。
- ・楽しく英語を学べてよかったです。
- ・外国のおかしも日本と違って色々工夫して作っているんだなあと思いました。
- ・学校や習い事で聞く英語より、スピードが早く、もっと勉強しないといけないと思いました。
- ・フリータイムの時間にも、ALTの先生と一緒に過ごせて楽しかったです。
- ・積極的に英語を話すようにがんばった。
- ・英語にもっと興味をもったので、中学生の人のようにかっこよく英語が話せるようになりたいです。
- ・自分のしゃべる英語が通じてうれしかったけど、もっとうまく英語をしゃべれるようになりたいです。
- 高レベルな会話ができ、とても刺激的でした。ALTの先生と1対1で話すときは、難しい単語が出てきて戸惑うこともありました。
- イングリッシュキャンプが終わると何か物足りなくて、外国に行きたくなってきました。もっと英語が大好きになり、勉強を頑張ろうと思える良い刺激になりました。
- 英語の楽しさや会話の難しさを改めて実感することができました。
- 新しい出会いや新しい英語がたくさんあって本当に有難い2日間でした。
- イングリッシュキャンプに参加して少し自信がつけました。

## 7 成果

- ・活動プログラムや、空き時間の中でALTと自然に遊んだり、話したりして、自分の英語が通じたり、ALTの話していることがわかったりすることで、英語を理解したいという向上心へとつながった。
- ・小学生は、中学生みたいにかっこよく英語を話したいと思い、また中学生はALTとの関わりの中でもっと英語を話せるようになりたいと思うことで、興味関心を高める良い刺激となった。
- ・1泊2日ALTと生活を共にしたり、工作やおやつを作ったりして、異文化に触れることができた。

## 8 課題

- ・多数の応募があったため、児童生徒が英語を話す機会を損なわない程度に参加人数についても考える必要がある。また、参加人数に応じたALTの確保が必要である。
- ・もっと英語を話したり聞いたりすることができる活動を取り入れるなど、プログラムの内容についても考える必要がある。
- ・小学5年生と中学2年生ではレベルの差が大きいため、中学生がもっと活躍する場を作る必要がある。

## 指定管理者の募集について

次の施設の指定管理者を募集します。指定管理の開始は、平成28年4月からです。

## 1 募集施設

	施設名	所在地
1	小杉展示館	射水市戸破 4286 番地 1
2	大島弓道場	射水市新開発 296 番地
3	パークゴルフ南郷	射水市生源寺 1260 番地 2

## 2 日程（スケジュール）

平成27年	9月28日	指定管理者の募集
	～10月16日	
	10月下旬	指定管理者候補者の選定（選定委員会）
	12月	指定の議決（12月市議会定例会）
平成28年	1月	基本協定書（本協定書）の締結
	3月下旬	年度協定手続き
	4月1日	指定管理の開始

## 富山マラソン開催準備状況

## 1 富山マラソン

平成27年11月1日(日) 9:00 スタート(フルマラソン)

## 2 参加者数 約14,000人(裏面参照)

内訳 フルマラソン 約12,000人(県内 約5,400人、県外 約6,500、国外 約100人)

※47都道府県、10か国から参加

## 3 ボランティア 約4,000人

うち射水市地域振興会関係 約400人 その他 企業、学校その他団体

説明会 日時 10月8日(木)、11日(日) 10:30~16:30

場所 高周波文化ホール

## 4 応援(市内関係)(別図参照)

## (1) 沿道応援イベント

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ○ 大門小学校 凧揚げ     | 三女子交差点付近       |
| ① 新湊高校吹奏楽部      | 新湊コミュニティセンター   |
| ② 長徳寺自治会 曳山展示   | 鶴の湯付近          |
| ③ 古新町自治会 曳山展示   | 新湊漁港付近         |
| ④ 中町自治会 曳山展示    | 皇太神宮付近         |
| ⑤ 越中大島太鼓、IM Zip | 新湊きつときと市場      |
| ⑥ 七美二十六町獅子舞     | ブリヂストン物流(株)前   |
| ⑦ 流鏝馬           | 加茂東部農道(県道41号横) |

## (2) 小・中学校による沿道応援

- |          |           |
|----------|-----------|
| A 新湊小学校  | 本町ローソン付近  |
| B 新湊中学校  | 奈呉の浦大橋東側  |
| C 放生津小学校 | 新湊漁業協同組合前 |
| D 堀岡小学校  | 新湊大橋東交差点  |
| E 射北中学校  | 堀岡町交差点付近  |
| F 東明小学校  | 七美ことぶき苑前  |
| G 下小学校   | 加茂交差点付近   |

## 5 給水所、收容関門、救護所(市内)

- |                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
| ① JFEマテリアル前                    | 第4給水所、第3收容関門、第3救護所 |
| ② 新湊漁業協同組合前                    | 第5給水所、第4收容関門、第4救護所 |
| ③ 堀岡小学校前(サコース 富山新湊漁業協同組合センター前) | 第6給水所、第5收容関門、第5救護所 |
| ④ 七美(二十六町)交差点付近                | 第7給水所、第6救護所        |
| ⑤ JAいみず野東部支店前                  | 第8給水所、第6收容関門、第7救護所 |

## 6 交通規制周知

- ・ コース沿線地域振興会、企業、商店等 戸別訪問説明
- ・ 交通規制チラシ

6月広報同時配布	コース沿線自治会	班回覧
9月広報同時配布	市内全域	班回覧
10月広報同時配布	市内全域	全戸配布(6、9月とは別物)

## 「富山マラソン 2015」エントリー状況について

### エントリー状況(募集終了)

区分	内容	受付期限	エントリー数
フル	県民先行枠、応援枠、一般枠(先着)	募集終了	9,595名
	一般枠(抽選)	募集終了	1,144名
	国内ツアー枠、海外枠、他大会連携枠等	募集終了	1,332名
	計		12,071名
併設	車イス(10km)、5km、3km、2km	募集終了	1,796名
合 計			13,867名

県内:県外 50%(6,895名):50%(6,869名) (13764名中) ※フルのみでは 45%(5,414名):55%(6,554名)

〔参考:県外トップ10〕 ※47都道府県からエントリーあり

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
東京都	神奈川県	石川県	愛知県	大阪府	長野県	埼玉県	千葉県	兵庫県	新潟県
1,517	697	577	557	423	421	385	349	277	239

### 全参加者の内訳 (海外 103名を除く 13,764名について)

都道府県	合計	順位	都道府県	合計	順位	都道府県	合計	順位	都道府県	合計	順位
北海道	72		東京都	1,517	②	滋賀県	89		香川県	10	
青森県	9		神奈川県	697	③	京都府	192		愛媛県	13	
岩手県	11		新潟県	239	⑩	大阪府	423	⑥	高知県	7	
宮城県	35		富山県	6,895	①	兵庫県	277	⑩	福岡県	36	
秋田県	5		石川県	577	④	奈良県	79		佐賀県	2	
山形県	15		福井県	192		和歌山県	31		長崎県	2	
福島県	20		山梨県	26		鳥取県	6		熊本県	10	
茨城県	71		長野県	421	⑦	島根県	3		大分県	4	
栃木県	32		岐阜県	160		岡山県	17		宮崎県	6	
群馬県	30		静岡県	72		広島県	34		鹿児島県	5	
埼玉県	385	⑧	愛知県	557	⑤	山口県	5		沖縄県	12	
千葉県	349	⑨	三重県	81		徳島県	33		計	13,764	

〔参考:海外枠エントリー状況 (103名)〕

台湾 61、香港 21、シンガポール 8、中国 5、アメリカ 2、タイ 2、ロシア、フランス、マレーシア、イギリス 各 1名

平成 27 年 10 月 の 主 な 行 事 予 定

資料 7

日 曜	時 間	場 所	行 事 予 定	主 務・関 連 課	教 育 委 員 出 席
1 木					
2 金					
3 土	10:00	中央公民館	第2回家庭教育支援講座	生涯学習・スポーツ課	
	13:00	アルビス小杉総合体育センター	平成27年度射水市スポーツ選手強化育成事業 射水市小中学生ジュニア強化練習会(卓球) ~4日(9:00~)	生涯学習・スポーツ課	
4 日	9:00	グリーンパークだいもん相撲場	第30回富山県相撲選手権大会	生涯学習・スポーツ課	
	14:00	大門総合会館 右記小学校	笑福亭鶴光&三遊亭遊馬 東西落語会 学習発表会(作道、大門小学校)	大門総合会館 学校教育課	
5 月		各事業所	社会に学ぶ「14歳の挑戦」(新湊、新湊南、射北中学校)(~10/9)	学校教育課	
6 火					
7 水					
8 木	10:00	小杉庁舎	総合教育会議	学校教育課	○
	10:50	新湊博物館	第50回全国史跡整備市町村協議大会エクスカーション	生涯学習・スポーツ課	
9 金	9:00	陶房「匠の里」	焼き物祭り 第30回陶友会作品展 ~12日	陶房「匠の里」	
	10:00	中央公民館	放課後子ども教室等教育活動推進員研修会	生涯学習・スポーツ課	
10 土		右記小学校	学習発表会(大島小学校)	学校教育課	
11 日		右記小学校	学習発表会(放生津小学校)	学校教育課	
12 月	15:00	アイザック小杉文化ホール	チェリッシュコンサート	小杉文化ホール	
	9:30 13:30	新湊博物館	呈茶会 [東京国立近代美術館工芸館名品展]記念講演会	生涯学習・スポーツ課 新湊博物館	
13 火					
14 水					
15 木		滑川市	富山県市町村教育委員会連合会第2回研修会	学校教育課	○
16 金					
17 土		右記中学校	文化活動発表会(射北、小杉、小杉南中学校)	学校教育課	
		新湊アイシン軽金属スポーツセンター	NBL2015-2016 アイシンホース三河ホームゲーム	生涯学習・スポーツ課	
	13:30	アイザック小杉文化ホール	第19回小杉童謡フェスティバル	小杉文化ホール	
18 日	15:00	高周波文化ホール	射水市展 表彰式	射水市展運営委員会	
		右記小学校	学習発表会(新湊、片口、堀岡、東明、塚原、小杉、金山、 歌の森、太閤山、中太閤山、下村小学校)	学校教育課	
		右記中学校	文化活動発表会(大門中学校)	学校教育課	
19 月					
20 火					
21 水	10:00	新湊農村環境改善センター	古文書講座第1回	新湊博物館	
22 木					
23 金					
24 土	8:00	歌の森運動公園野球場、県営新港球場	第38回東日本軟式野球富山県大会二部	生涯学習・スポーツ課	
25 日	10:00	竹内源造記念館	第2回 本格緞絵教室	生涯学習・スポーツ課	
26 月					
28 水	10:00	新湊農村環境改善センター	古文書講座第2回	新湊博物館	
29 木					
30 金					
31 土		右記中学校	文化活動発表会(新湊、新湊南部中学校)		

展示等

自	至	場 所	展 示 名	自	至	場 所	展 示 名
9/18	11/23	新湊博物館	東京国立近代美術館工芸館名品展				
9/12	11/23	射水市ゆかりの作家たち					
10/16	10/26	陶房「匠の里」	有磯窯 五島彰二展				

平成 27 年 11 月の主な行事予定

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	日	9:00	高岡市～射水市～富山市間	富山マラソン2015	生涯学習・スポーツ課 一般財団法人富山陸上競技協会	教育長
		15:00	アイザック小杉文化ホール	射水市合併10周年記念式典		教育長
2	月					
3	火					
4	水	10:00	新湊農村環境改善センター	古文書講座3回	新湊博物館	
5	木	14:00	日本海交流センター及び帆船海王丸	平成27年度西部地区地方教育委員会連絡会講演会	学校教育課	○
6	金					
7	土		小杉カントリークラブ	「射水市合併10周年記念きらめき杯」チーム対抗チャリティーゴルフ大会	生涯学習・スポーツ課	
8	日	9:00	富山市～高岡市間	第33回富山県駅伝競走大会	生涯学習・スポーツ課 (公財)射水市体育協会	
		10:00	竹内源造記念館	第2回 本格鏝絵教室	生涯学習・スポーツ課	
9	月					
10	火					
11	水	10:00	新湊農村環境改善センター	古文書講座4回	新湊博物館	
12	木					
13	金					
14	土	9:45	アルビス小杉総合体育センター	第6回ひのまるキッズ北信越小学生柔道大会 ～15日	生涯学習・スポーツ課	
15	日					
16	月					
17	火					
18	水	10:00	新湊農村環境改善センター	古文書講座5回	新湊博物館	
19	木					
20	金					
21	土	16:00	高周波文化ホール	競演!!グループサウンズBIG3	新湊中央文化会館	
22	日	10:00	竹内源造記念館	第2回 本格鏝絵教室	生涯学習・スポーツ課	
		14:00	大島絵本館	おおしま手作り絵本コンクール2015表彰式	大島絵本館	○
23	月					
24	火					
25	水					
26	木					
27	金					
28	土	19:00	高周波文化ホール	射水市スキー協会設立10周年記念事業記念講演会	生涯学習・スポーツ課	
29	日	10:00	高周波文化ホール	平成27年度射水市生涯学習フェスティバル	生涯学習・スポーツ課	教育長
		14:00	アイザック小杉文化ホール	射水市芸術文化協会設立十周年記念式典		
30	月					

展示等

自	至	場 所	展 示 名	自	至	場 所	展 示 名
9/18	11/23	新湊博物館	東京国立近代美術館工芸館名品展	11/15	11/26	陶房「匠の里」	八乙女窯 花嶋伊都子展
11/27	2/14	新湊博物館	新収蔵品展				
9/12	11/23	大島絵本館	射水市ゆかりの作家たち				
11/27	2/14	新湊博物館	新収蔵品展				
10/31	11/11	陶房「匠の里」	保陶裡窯 新保孝二展				